

2017 事業報告書 ANNUAL REPORT

# 公益財団法人 北九州産業学術推進機構

FAIS

Kitakyushu Foundation  
for the Advancement of Industry,  
Science and Technology

## はじめに

公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)<sup>フェイス</sup>は、平成13年に地域の産業を支える知的基盤として開設された北九州学術研究都市を中心に、地域に集積する大学・研究機関と産業界の連携をコーディネートする機関として、また、中小企業・ベンチャー企業の総合的な支援機関として活動しています。

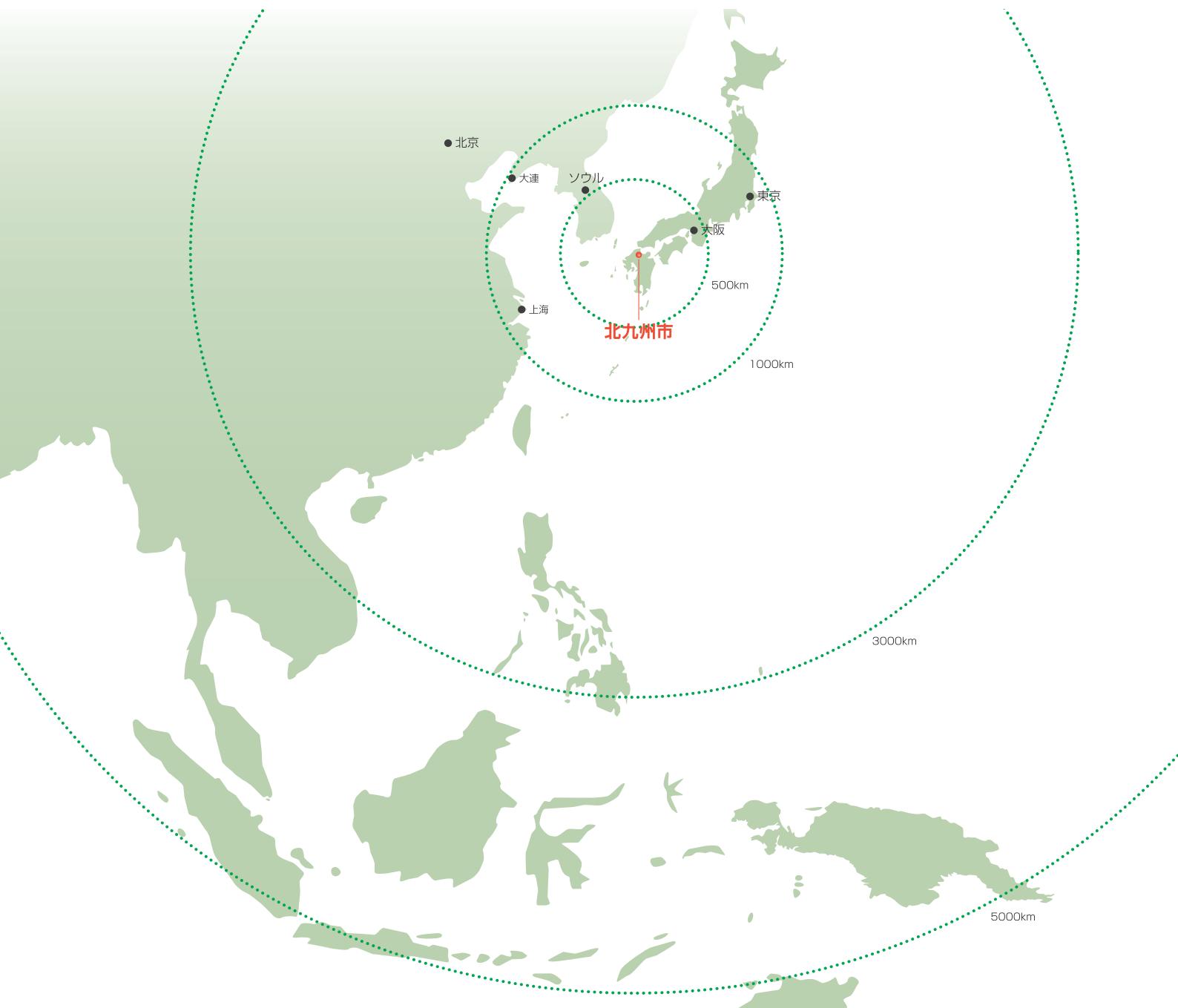
現在、北九州学術研究都市には、北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科、九州工業大学大学院生命体工学研究科、早稲田大学大学院情報生産システム研究科、福岡大学大学院工学研究科の1学部4大学院、その他に13の研究機関や、47の企業等が集積しています。

開設時には約300人だった学生数は、現在約2,500人となり、そのうち留学生は700人を超え、まさにアジアを中心とした各国からの頭脳が集まるキャンパスとなりました。

こうした中、FAISは平成30年4月、公益財団法人九州ヒューマンメディア創造センター(HMC)と統合しました。この統合により、ものづくり分野などに関して企業や大学等が有するシーズ等に精通したFAISと、情報通信分野で優位性を持つHMCのそれぞれの強みを融合し、ロボットやIoT(モノのインターネット)の活用等による地域企業の生産性向上に向けた支援をさらに強化します。

また、今後、これまでの产学研連携による研究開発や学術研究への支援に加え、第5期中期計画(平成30年度～平成34年度)を踏まえた自立できる産業づくりのための各種施策の推進により、生産性の向上や産業技術の高度化、活力ある地域企業群の創出・育成に寄与すべく、取り組みを実行してまいります。

本事業報告書が、公益財団法人北九州産業学術推進機構の取り組みをご理解いただくための参考となれば幸いです。



# 目 次

(公財)北九州産業学術推進機構について ..... 1

## 学研都市の一体的運営

北九州学術研究都市の概要	3
学研都市の進出大学、研究機関、企業および产学連携施設	5
アジアの学術研究拠点の形成	9
地域交流・広報活動・施設の市民開放	11

## 产学研連携の推進

产学研連携の取り組み(全体フロー)	13
情報収集・発信、产学研交流の促進	13
研究成果の特許化と技術移転《北九州TLOの運営》	16
研究開発支援	17
技術拠点化の推進	20
国家戦略特区の取り組み	24

## 中小企業・ベンチャー企業の総合的支援

中小企業の総合的支援	25
ベンチャー企業の創出・育成	26

## 財団運営

評議員および役員名簿	27
決算資料	28
アクセスマップ	32

## 北九州学術研究都市

- キャンパス運営センター
- 产学研連携統括センター  
ものづくり革新センター  
情報産業振興センター  
自動車技術センター  
ロボット技術センター  
国家戦略特区ライン

## 北九州テクノセンタービル

- 中小企業支援センター



# 公益財団法人 北九州産業学術推進機構



Kitakyushu Foundation  
for the Advancement of Industry,  
Science and Technology

- 理事長／松永 守央
- 基本財産／3億8,550万円(北九州市及び民間企業からの出捐金)
- 役員等構成／[学界] 学研都市参画大学副学長 市内理工系大学長等  
[産業界] 商工会議所等経済団体  
[行政] 北九州市、福岡県
- 職員数／68名(H30.5.1現在)、市派遣:13名、県派遣:1名、  
民間出身等:27名(うち出向15名)、事務嘱託等:27名
- 平成29年度事業費(支出決算額)／19.6億円  
(うち、国等の受託研究等約1.1億円)

## 北九州学術研究都市の 一体的運営

- 施設の管理・運営
- アジアの学術研究拠点の形成  
海外大学等との共同研究支援  
海外との交流協定  
留学生支援
- 地域交流・広報活動



## キャンパス運営センター

北九州学術研究都市内にある  
共同利用施設の管理・運営を行う  
とともに、進出大学間の連携・交  
流を促進し、学研都市の一体的な  
運営を行っています。



## 产学連携等の推進

- 情報収集・発信、产学交流の促進
- 研究開発支援
- 事業化支援
- 技術拠点化の推進  
半導体技術拠点化  
自動車技術拠点化  
ロボット技術開発拠点化
- 製造業・情報産業等の振興

## アジアに開かれた学術研究拠点

## 新たな産業の創出、技術の高度化

## 地域の産業・学術の振興

## 中小企業・ ベンチャー企業への 総合的支援

- 経営相談・専門家派遣・  
販路開拓支援
- 知的財産の活用支援

## 中小企業支援センター

戸畠区中原新町2-1(北九州テクノセンター1階)

中小企業の経営革新・創業をワンストップで支援しています。創業や経営の改善・  
革新を目指す個人や中小企業の取り組みを支援するため、相談窓口、専門家派遣  
等のほか北九州知的財産支援センターの運営も行っています。





## 産学連携統括センター

先端科学技術分野の研究を行う大学・研究機関の知的基盤を活用した産学共同研究や技術移転のコーディネートを行い、産業技術の高度化や新産業の創出を促進しています。



- ◎産学連携のコーディネート
- ◎北九州学術研究都市の研究シーズの発信
- ◎産学交流の場の提供
- ◎産学共同研究プロジェクトの企画推進、研究成果の事業化支援
- ◎産学共同研究開発への支援
- ◎北九州TLOによる技術移転支援

## ものづくり革新センター

従来型支援(市内企業・大学が提案・実施するプロジェクトの競争的資金獲得・運営等)に加え、激変するものづくりに対応すべく、「革新的ものづくり」を実現するプロジェクト創出、研究会運営等を通して、市内企業の産業競争力を強化支援します。

また平成30年度からは、半導体・エレクトロニクス分野も取込み、同産業の振興のため、市内関連企業を支援しています。

- ◎「革新的ものづくり」実現に向けた支援活動
- ◎研究開発支援
- ◎事業化支援
- ◎半導体関連企業の支援



▲セミナー

## 情報産業振興センター

新ビジネスの創出、地域産業の高度化を実現するため、北九州e-PORT構想2.0の推進により様々な支援を進めています。また、平成30年度の(公財)北九州産業学術推進機構と(公財)九州ヒューマンメディア創造センターの統合を機に、これまで積み上げてきた両財団の知見を結集し、生産性向上のプロジェクトを創出するための仕組みづくりを行います。

- ◎生産性向上事業の創出支援
- ◎新規プロジェクト創出・事業化支援
- ◎地域産業の成長支援
- ◎高度ICT人材育成

## 自動車技術センター

自動車産業の拠点化を推進するために、産学官連携による研究開発支援・人材育成を行っています。企業技術者と大学研究者のコーディネートによる研究会活動をベースに共同研究開発を促進するとともに、学研都市3大学による連携大学院「カーエレクトロニクスコース」、「インテリジェントカー・ロボティクスコース」の支援など、専門人材の育成に取り組んでいます。

- ◎研究開発支援
- ◎人材育成



▲自動車技術・ロボット技術の支援、拠点となる  
技術開発交流センター



▲自動車工学「エンジン分解・組立実演」の様子  
(協力:日産自動車九州株)

## ロボット技術センター

北九州地域のロボット産業振興を目的とし、北九州ロボットフォーラムの運営を行っています。ロボット技術の調査、開発から実証までのコーディネートや学研都市内の大学とロボット関連企業との共同研究開発を通して、ロボットの技術開発および実証の拠点化を進めています。また、市内企業へのロボット普及を推進するための導入支援事業や人材育成活動を実施しています。



▲センター保有設備例

- ◎ロボット技術の調査、開発
- ◎実証化・事業化のコーディネート
- ◎人材育成
- ◎中小企業へのロボット導入支援

## 国家戦略特区ライン

ロボット技術等による介護従事者の負担軽減と介護の質の向上を目的として、介護ロボット等の実証を行い、作業分析により介護ロボット等の導入効果の検証を行っています。また、「北九州市介護ロボット開発コンソーシアム」を運営し、作業分析等で得られた情報や介護現場の声を踏まえた介護ロボット等の開発や改良、安全性検証や倫理審査にかかるサポート、開発費補助等の支援を行っています。

- ◎介護施設における作業観察・分析
- ◎北九州市介護ロボット開発コンソーシアム運営
- ◎介護ロボット等の実証
- ◎介護ロボット等の開発・改良支援



▲移乗アシスト装置(株式会社安川電機)

# 学研都市の一体的運営

## 北九州学術研究都市の概要

### 北九州学術研究都市とは

北九州学術研究都市は、「アジアに開かれた学術研究拠点」と「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指し、理工系の国・公・私立大学や研究機関が同一のキャンパスに集積するという独自の試みとして、平成13年4月にオープンしました。現在、進出した大学が北九州学術研究都市の理念を共有して、先端的な科学技術、特に「環境技術」と「情報技術」を中心に活発な教育研究活動を展開しています。

#### 大学等の「知」を活用した 地域の産業・学術の振興

アジアに開かれた学術研究拠点

新たな産業の創出・技術の高度化

新たな技術と  
豊かな生活を  
創り出す  
**アジアの  
先端産業都市  
の実現**

(北九州市新成長戦略の目標)

### 北九州学術研究都市の特色

#### 理工系の大学・研究機関、 研究開発型企業等を 同一のキャンパスに集積

◎国・公・私立大学(1学部4大学院)

北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科  
九州工業大学大学院生命体工学研究科

早稲田大学大学院情報生産システム研究科

福岡大学大学院工学研究科

◎研究機関(13機関)

◎研究開発型企業等(47社)

(平成30年7月1日現在)

#### 進出大学の教育・ 研究理念の共通化

◎先端的な科学技術分野での  
教育・研究の展開

◎産学連携の促進

◎起業家精神の育成

◎アジアの学術研究拠点の形成

#### キャンパスの一体的な運営、 施設の共同利用

◎学研都市進出大学の代表者で  
構成する「キャンパス運営委員会」による  
共同事業の企画・立案

◎図書室、情報処理施設、利便施設の共同利用

#### 研究者・教員・学生相互の交流と連携

◎進出大学による共同研究、教員等の交流

◎単位互換の実施

◎進出大学による連携大学院の運営

連携大学院カーエレクトロニクスコース

連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコース

## 北九州学術研究都市整備事業

### ◎整備の基本方針

北九州学術研究都市の開発は、周辺の自然環境や都市環境を活かしながら、先端科学技術に関する教育・研究機関の集積と良好な住宅街の供給を行って『複合的な街づくり』として進めています。

### ◎開発地域／若松区西部・八幡西区北西部

◎開発総面積／約335ha

◎計画人口／12,000人

### ◎整備スケジュール

**第1期事業（約121ha）**

平成7年度～17年度 ※事業完了

事業主体：(独)都市再生機構

**第2期事業（約136ha）**

平成14年度～29年度

事業主体：北九州市

**第3期事業（約68ha）**

未定

**河川事業（約10ha）**

### 【土地利用概略図】

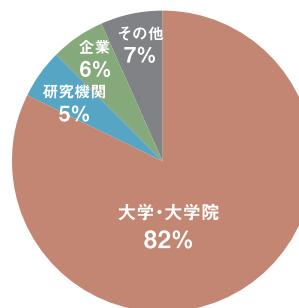


### 北九州学術研究都市の昼間人口

(平成30年5月1日現在)

**約3,500名**

学生	2,466名 (うち留学生712名)
教員	166名 (うち専任教員のみ)
研究員	234名 (うち外国人研究員69名)



## 北九州学術研究都市整備のあゆみ

平成元年(1989年)	「北九州学術研究都市基本構想」策定
平成8年(1996年)	2月 「北九州学術・研究都市南部土地区画整理事業」(第1期事業)着手
平成12年(2000年)	4月 「九州工業大学大学院生命体工学研究科」開設
<b>平成13年(2001年) 4月</b>	<b>「北九州学術研究都市」オープン</b>
	「北九州市立大学国際環境工学部」開設
平成14年(2002年)	1月 「共同研究開発センター(産学連携センター2号館)」開設
	4月 「福岡大学大学院工学研究科」開設
	「北九州学術・研究都市北部土地区画整理事業」(第2期事業)着手
	5月 「情報技術高度化センター(産学連携センター3号館)」開設
平成15年(2003年)	4月 「北九州市立大学大学院国際環境工学研究科」開設
	「早稲田大学大学院情報生産システム研究科」開設
平成17年(2005年)	4月 「事業化支援センター(産学連携センター4号館)」開設
平成18年(2006年)	6月 「北九州学術・研究都市南部土地区画整理事業」(第1期事業)完了
平成20年(2008年)	7月 「技術開発交流センター(産学連携センター5号館)」開設
平成21年(2009年)	4月 「北九州学術研究都市連携大学院カーエレクトロニクスコース」開設
平成23年(2011年)	北九州学術研究都市 10周年
平成25年(2013年)	4月 「北九州学術研究都市連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコース」開設
	10月 「産業用ロボット導入支援センター」開設
平成29年(2017年)	4月 「北九州市立ひびきの小学校」開校

# 学研都市の進出大学、研究機関、企業および产学連携施設

## 北九州学術研究都市進出大学・产学連携施設

### 1 北九州市立大学

#### 国際環境工学部

■学生定員:1,000名  
 エネルギー循環化学科  
 機械システム工学科  
 情報メディア工学科  
 建築デザイン学科  
 環境生命工学科

#### 大学院国際環境工学研究科

■学生定員:336名  
 環境システム専攻  
 環境工学専攻  
 情報工学専攻



### 2 九州工業大学大学院



#### 生命体工学研究科

■学生定員:352名  
 生体機能応用工学専攻  
 人間知能システム工学専攻  
 生命体工学専攻



### 3 早稲田大学大学院



#### 情報生産システム研究科

■学生定員:460名  
 情報アーキテクチャ分野  
 生産システム分野  
 集積システム分野

#### 学生数および教員数

(平成30年5月1日現在)

大学	学部	修士	博士	研究生	特別研究学生	学生数計	教員数
北九州市立大学 国際環境工学部	1,134 (25)	—	—	6 (5)	0 (0)	1,140 (30)	87
北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科	—	306 (61)	77 (65)	2 (1)	0 (0)	385 (127)	—
九州工業大学大学院 生命体工学研究科	—	266 (22)	146 (55)	2 (2)	1 (1)	415 (80)	44
早稲田大学大学院 情報生産システム研究科	—	468 (434)	49 (33)	2 (2)	1 (1)	520 (470)	33
福岡大学大学院 工学研究科	—	5 (5)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (5)	2
合計	1,134 (25)	1,045 (522)	273 (153)	12 (10)	2 (2)	2,466 (712)	166

( )内は留学生数

※産学連携センター内

**A 産学連携センター**産学連携センター  
1号館**産・学・官が手を組んで研究を  
進める中核施設**

「公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター」などの研究機関、最先端の研究を行う企業、「福岡大学大学院工学研究科」が入居しています。また、100人程度まで対応できる研修室や会議室なども提供しています。

- 貸研究室(31室、オフィス系)
- 研修室、会議室(中・小)、特別会議室、特別応接室

**F 学術情報センター**図書室  
情報処理施設**情報を集積・発信する  
マルチメディアステーション**

学術情報の収集提供(図書室)の機能、情報処理教育施設の機能を持つほか、キャンパス内に整備された大容量ネットワークを利用したさまざまな情報通信サービスを提供しています。

**貸研究室賃料**

◎2,000円／m<sup>2</sup>・月 (共益費別 500円／m<sup>2</sup>・月)  
(例: 研究室50m<sup>2</sup>の場合およそ150万円／年 光熱水費等別)

**B 共同研究開発センター**産学連携センター  
2号館**半導体微細加工技術の  
研究開発を支援する施設**

企業や大学などが半導体製造関連分野の研究開発などを行う施設です。ICやMEMSの試作を行う研究開発機器の開放や研究室の提供などを行います。IC試作体験実習(CMOSプロセス)の受け入れも可能です。

- 貸研究室(7室、オフィス系)
- 共同利用のIC・MEMS向け微細加工装置群を設置  
(イオン注入装置、電子ビーム描画装置、両面露光装置、高速熱処理装置(RTA)、ダイシングソー、ポンディング装置等)

**C 情報技術高度化センター**産学連携センター  
3号館**ネットワークや半導体  
設計に関する  
研究開発を行う施設**

企業や大学などが高度な情報通信技術や半導体設計技術の研究開発などを行う施設です。コンテンツ制作や半導体設計を行う研究開発機器の開放や研究室の提供などを行います。

- 貸研究室(32室、オフィス系・小規模研究室)
- 会議室
- 半導体設計を行う研究開発機器等を設置

**D 事業化支援センター**産学連携センター  
4号館**大学発ベンチャー等の  
研究開発や事業化を  
支援する施設**

オフィス系研究室のほか、機械系と化学系の研究室や小規模ブース単位で使用できる共同研究室を提供しています。

- 貸研究室(36室、オフィス系・機械系・化学系)
- 会議室(中・小)
- 共同研究室(10ブース)

**E 技術開発交流センター**産学連携センター  
5号館**カーエレクトロニクス、  
ロボット分野等での新たな  
技術開発を支援する施設**

北九州学術研究都市でのこれまでの成果を活用し、カーエレクトロニクス、ロボット分野での技術開発を支援する施設です。また、学術研究を目的に訪れる方のための宿泊室も提供しています。



- 貸研究室(48室、オフィス系・機械系・化学系)
- 宿泊室(9室、シングル8室・ツイン1室)
- 会議室(中・小)
- 交流室(2室)

産学連携施設が充実する北九州学術研究都市には、大学だけではなく研究機関および半導体設計関連企業を中心とした研究開発型企業の進出も進んでいます。また、北九州学術研究都市の大学シーズを活用した起業も活発で、学研都市発ベンチャー企業も14社入居しています。

## 進出研究機関

平成 30 年 7 月 1 日現在

	研究機関等の名称	入居場所	研究内容
1	早稲田大学 情報生産システム研究センター	早稲田大学 情報生産システム 研究センター	自動車エレクトロニクスおよび LSI 分野において国際的水準の高度な研究、人材育成
2	中国上海交通大学 北九州研究室	早稲田大学 情報生産システム 研究センター	ユビキタス情報処理先行技術、産業用ロボット・制御システム、アンビエント SoC 技術等に関する研究
3	韓国科学技術院 (KAIST) －釜山大学校 北九州研究室	早稲田大学 情報生産システム 研究センター	ロボット産業・エネルギー産業・自動車産業の産業高度化に関する研究開発
4	九州工業大学 太陽光エネルギー変換 研究センター	九州工業大学	太陽光エネルギーを直接電気エネルギーに変換、又は化学エネルギーに変換、保存する材料、及びそれらのデバイスに関する研究開発
5	九州工業大学 次世代パワーエレクトロニクス 研究センター	九州工業大学 および 共同研究開発センター	省エネルギーの推進、電力の高度利用技術、自然エネルギーの活用等、低炭素社会の実現に貢献するパワー半導体を中心とした次世代パワーエレクトロニクス技術の研究開発
6	北九州市立大学 環境技術研究所	北九州市立大学	地球環境の変化と地域社会の要請に応えるため、環境、エネルギー、バイオマテリアル、情報、ロボット技術等の分野の研究と技術開発を戦略的に推進
7	公益財団法人 福岡県リサイクル総合研究 事業化センター	産学連携センター	資源循環型社会の構築に向けて、産学官民が共同で取り組みながら環境・リサイクル技術と社会システムを併せた研究
8	福岡大学 産学官連携センター 北九州産学連携推進室	産学連携センター	環境産業に関する企業のニーズ、自治体の政策およびシーズをマッチングさせ、産学官連携による環境産業振興を展開
9	一般社団法人 HiBD 研究所	産学連携センター	再生可能資源、炭酸ガスを原料とする液体燃料製造の研究開発
10	一般財団法人 ファジィシステム研究所	共同研究開発センター および 技術開発交流センター	ファジィ理論を応用した情報処理システムに関する試験研究
11	現代美術センターCCA 北九州事業所	情報技術 高度化センター	マルチメディアコンテンツの創造に向けた情報通信による表現技術の研究・開発、大学と連携した人材育成
12	北九州市環境エレクトロニクス 研究所	事業化支援 センター	次世代パワー半導体の設計、信頼性研究、電源の小型化等の研究および大学、企業等との共同研究・人材育成
13	一般社団法人 行動評価システム研究所	事業化支援 センター	スポーツ選手向けメンタルコンディションチェックアプリの開発

## 進出企業

平成 30 年 7 月 1 日現在

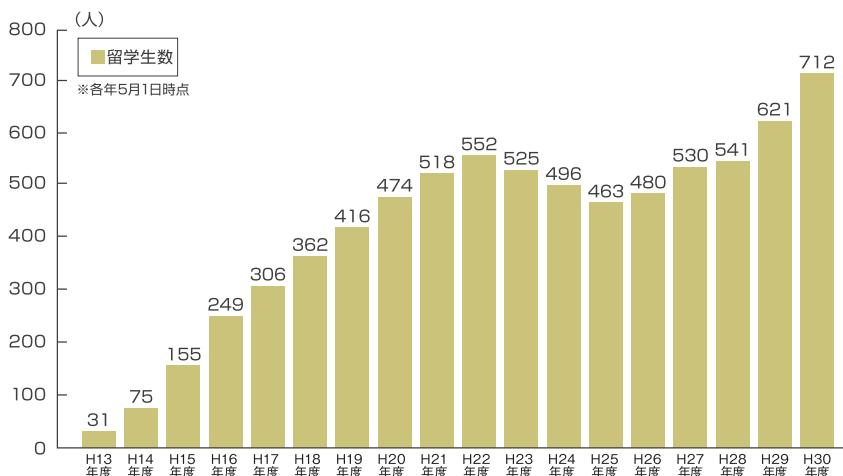
入居場所	企業名	事業内容
産学連携センター	(株)インフォグラム	システム開発、パソコン教育サービス、インターネットサービスおよび前各号に付帯関連する一切の業務
	石田特許事務所	特許、及び実用新案・意匠・商標登録の出願手続の代理、特許出願等に関するコンサルティング
	● (株)ラステディアス	LED照明灯の研究・開発
	KOA(株)	電子部品、センサ素子、センサモジュールに関する情報収集、情報交換ならびに産学共同開発
	プラントメイクRISE(株)	焼却炉設備におけるコーティング剤開発、3Dスキャナーによる構造計算ソフトの開発
共同研究開発センター	(株)セキュリティ情報研究所	システム開発、システム保守（24時間365日）
	(有)K2R	触媒反応を利用したラジカル種含有の水の生成装置の研究開発
情報技術高度化センター	(株)Windy	病院、薬局で使用するソフト開発、自動車工場での作業分析ソフトの開発
	三島光産(株)	薬剤自動除包分配機及び調剤薬局関連機器の開発、製造
	株健康資源リサーチアンドコンサルティング	教育支援システムの研究開発
	(有)OHG研究所	臨床検査および臨床検査技術の研究開発、生体試料分析
	● (有)ビー	画像処理システムおよびソフトウェアの研究開発
事業化支援センター	● 実研開発(有)	臨床工学教育機材、光伝送生体信号測定装置の開発・販売
	● (株)ブラテック	Webシステム開発、アカデミックソリューション事業
	(株)sMedio	次世代放送（高度帯域衛星放送）におけるシステムの研究開発
	● RoboPlus ひびきの(株)	メカトロニクス設計・製造及び販売、コンサルタント業
	博通テクノロジー(株)	無線センサネットワークによる照明節電制御システムの開発
	ひびきの会計事務所	山口公認会計士・税理士事務所（公認会計士業務）
	株AKシステム	半導体製造装置製作技術等の新産業分野への応用研究開発
	カルソニックカンセイ(株)	北九州市（環境エレクトロニクス研究所）との共同研究
	(株)ITS	半導体集積回路等電子部品の研究開発
	● アーティックス(株)	フィンテックや人工知能に関する研究開発、コンピューターソフトウェアの研究開発
	● (株)石炭灰総合研究所	改質フライアッシュコンクリートの製造システムに関する研究開発
	(株)豊光社	分子接着技術を用いた曲面配線技術および高輝度・高信頼性LED照明の研究開発
	(株)ラボ（起業予定）	デザインと製造設備をクラウドで繋ぐ無人ロボット工場の研究開発
	● 華榮通商(株)	中国に応用できる環境技術、環境関連型製品の研究開発
	(株)TuSimple JAPAN	車両の自動運転技術の研究開発、設計及び販売
	● ミライワーカシステム合同会社	労働作業負担ツール開発及び関連事業
	(一社)進路指導・キャリア教育支援機構	中等教育における進路指導・キャリア教育・就職指導の教育
技術開発交流センター	(株)シキノハイテック	半導体設備の設計/製作/調整、LSI回路設計/レイアウト等
	吉川工業(株)	RF-IDに関する研究開発事業
	(株)C & Gシステムズ	金型設計・加工用CAD/CAMソフトウェア開発
	シャボン玉石けん(株)	無添加の化粧石けん、家庭用洗浄剤、消火剤などの製造販売
	(株)トリコ	電気部品の開発・修理
	● (株)環境フォトニクス	植物育成用LED光源等の研究・開発・販売
	● (株)FILTON	プラセンタエキス（胎盤盤液）を使った化粧品の開発・製造・販売
	アイシン精機(株)	画像認識・空間認識、車両制御等の要素技術開発
	日清紡ホールディングス(株)	自動車の先進運転支援システム（ADAS）におけるセンサー及びこれらのフュージョンに関する研究開発
	● ひびきの電子(株)	電界共振型生体センシング及びセンシングデータ解析システムの開発
	(株)コイシ	実験と測定
	● (株)EnH Japan	バイオ・環境関連ナノ新素材及び計測機器の研究開発
	京都電子工業(株)	新規センサー製作の技術要素確立のための試作・評価
	(一社)無人機研究開発機構	無人機全般について調査、研究および技術向上について知識の交換、情報の提供等を行う場となることにより、無人機に関する研究の進歩普及
	エステート・ワン株式会社	環境に配慮した住宅商材、AI住宅の研究
	● (株)セキュアサイクル	行動認識技術の汎用化プラットフォームの開発およびセキュリティ事業
	(株)安川電機	ロボットの試験・人の動作の模倣
	その他 1社	

※●印は学研発ベンチャー企業（14 社）

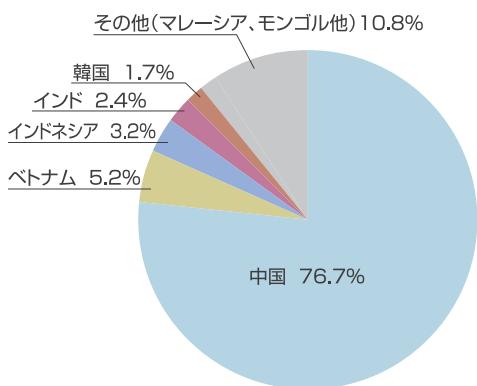
## アジアの学術研究拠点の形成

### 北九州学術研究都市の留学生

【留学生数の推移】



【出身国内訳(33か国)】



### 留学生の支援と優秀なグローバル人材の育成

#### FAIS留学生就職支援プログラム事業の運営

北九州学術研究都市内の3大学(北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学)の修士留学生を対象に、日本企業への就職を支援する「FAIS留学生就職支援プログラム」事業を実施しました。

受講生	16名(北九州市立大学1名、九州工業大学4名、早稲田大学11名)
プログラム	・就職支援講座(就活セミナー、模擬面接セミナー、就活カウンセリング、身だしなみ・マナー講座等)
	・就活日本語講座
	・日本ビジネス講座(講義は北九州市立大学ビジネススクールの講師に依頼)



昨年の就職支援プログラムの様子

#### 語学教育センターの運営

留学生や北九州学術研究都市に立地する企業・研究機関の職員を対象に、日本語の講座を開講する語学教育センターを運営しました。

- 日本語クラス／習得レベルにあわせた初級からビジネス日本語まで  
(春期・秋期各9クラス)

- 平成29年度受講者／日本語287名



日本語講座

## 留学生交流事業への助成

学研都市の留学生と地域住民との交流事業などを支援するため、NPO法人等が運営する事業に対して助成を行いました。

## 留学生への宿舎の提供・奨学金の給付

総戸数200戸の留学生宿舎を提供するとともに、北九州学術研究都市の大学院に在籍する留学生を対象に、「北九州学術研究都市奨学金」(1人年間60万円)を給付しました。

### ●平成29年度受給者数／20人

## 冠奨学金の給付

高度人材として国内外で活躍が期待される学研都市の留学生と地域企業等のネットワーク構築支援目的として創設され、株式会社戸畠ターレット工作所、日本プライスマネジメント株式会社、オムロン株式会社と個人から寄付金(総額626万円)をいただき奨学金を給付しました。



日価奨励奨学金(日本プライスマネジメント株式会社)

### ●平成29年度受給者数／7人



株式会社戸畠ターレット工作所奨学金



国際高度人材育成奨学金



オムロン株式会社奨学金

## 海外との交流促進

### 各大学における海外大学との交流協定（平成30年5月現在）

#### 【北九州市立大学国際環境工学部・同研究科・環境技術研究所(35機関)】

インド：インド工科大学ボンベイ校、フランス：パリ第7大学、中国：大連理工大学、ベトナム：ベトナム国家大学ハノイ校、タイ：タマサート大学 他30機関

#### 【九州工業大学大学院生命体工学研究科(21機関)】

チェコ：オストラバ工科大学、インド：インド工科大学カンプール校、マレーシア：マラ工科大学、中国：復旦大学 他17機関

#### 【早稲田大学大学院情報生産システム研究科(44機関)】

中国：北京大学、台湾：国立台湾大学、韓国：延世大学校、タイ：タマサート大学、フィリピン：アテネオ・デ・マニラ大学 他39機関

## 海外の研究機関等との交流協定

FAISは、台湾のサイエンスパークや中国の上海交通大学および韓国の韓国科学技術院(KAIST)・釜山大学校と交流協定を締結しています。交流協定を締結した大学や研究機関と北九州学術研究都市内大学との共同研究に対して助成等を行うほか、シンポジウム、セミナーを開催しています。

### ●平成16年／台湾 新竹サイエンスパーク、南部サイエンスパークとの交流協定締結

### ●平成19年／中国 上海交通大学との交流協定締結

### ●平成21年／台湾 中部サイエンスパークとの交流協定締結

### ●平成27年／韓国 韓国科学技術院(KAIST)、釜山大学校との交流協定締結

## 海外連携プロジェクトへの助成

北九州学術研究都市に進出した海外の大学(中国：上海交通大学、韓国：韓国科学技術院(KAIST)・釜山大学校)と共同研究を行う学研都市内の大学に助成しました。

### ●平成29年度実績／共同研究開発助成2件(助成総額550万円)

# 地域交流・広報活動・施設の市民開放

## 地域交流イベントの開催

### 第15回 北九州学術研究都市ひびきの祭

地元自治会など地域の方々との協同による「ひびきの祭」を開催し、多くの方へ科学やものづくりへの興味を喚起する場を提供しました。

日程／平成29年11月12日(日)

会場／北九州学術研究都市

内容／【FAIS企画】

- ・科学のチカラ体験PARK
  - <飛行機作りのワークショップやドローンやVR操作体験、様々なロボットのデモンストレーション、ロボット開発に携わる研究者によるトークショー等>
- ・図書・雑誌リサイクルフェア
- ・ICプロセス体験道場inひびきの <クリーンルームの作業体験>



【地域団体等企画】

- ・ひびきの秋祭り2017<模擬店、子ども縁日、地域紹介パネル展、ミニステージ等>
- ・あんぜん教室<地震体験車・消防車、白バイ・パトカー展示>
- ・ひびきの・みつさだ 気ままに音楽会2017
  - <園児演目、中・高合唱/吹奏楽、市民団体合唱等>

来場者数／約8,500人

### 北九州学術研究都市サイエンスカフェ

研究者が市民の輪に入って科学の話題を提供、参加者がともに考えながら、科学技術に対する理解と関心を高めることを目的に開催しました。

平成29年11月12日(日)／テーマ『お湯で動くエンジンを作ってみよう～形状記憶合金のふしき～』

講師：北九州市立大学国際環境工学部機械システム工学科 長 弘基 准教授

会場：北九州学術研究都市 産学連携センター（若松区）



## 広報活動

### 展示会への出展

下記の展示会をはじめ、16件の展示会に出展し、北九州学術研究都市の研究成果等を発信しました。

#### 北九州学術研究都市フェア

会期／平成29年10月11日(水)～13日(金)

総来場者数／31,066人

出展機関数／20機関

出展内容／北九州学術研究都市の大学や研究機関、関連企業等の研究成果や活動内容を広く市内外にPRし、新たな産学連携の機会の創出を図っていくため「エコテクノ2017」の併催事業として開催しました。



## 積極的な情報発信

北九州学術研究都市の取り組みや成果を、さまざまな機会や手法を活用して、国内外への情報発信を行っています。

**平成29年度報道件数／167件**

(内訳: テレビ・ラジオ等40件、雑誌6件、新聞121件)



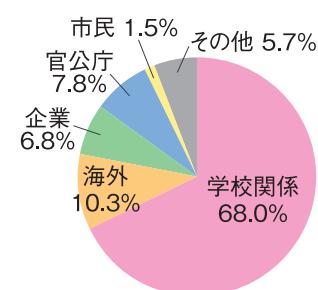
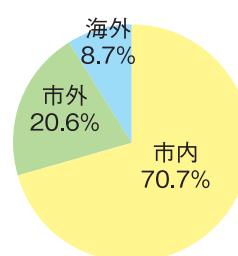
## 国内外研究者等の受け入れ

北九州学術研究都市に来訪した多数の国内外研究者等に対し、学術研究都市の設立目的や個別施設の概要、産学連携活動の取り組みや成果等を紹介しています。

**平成29年度視察者数／2,014人**

\*海外／175人(14カ国・地域) \*国内／1,839人

【視察者内訳(人数)】



## 市民も利用できる共同利用施設の運営

### 学術情報施設

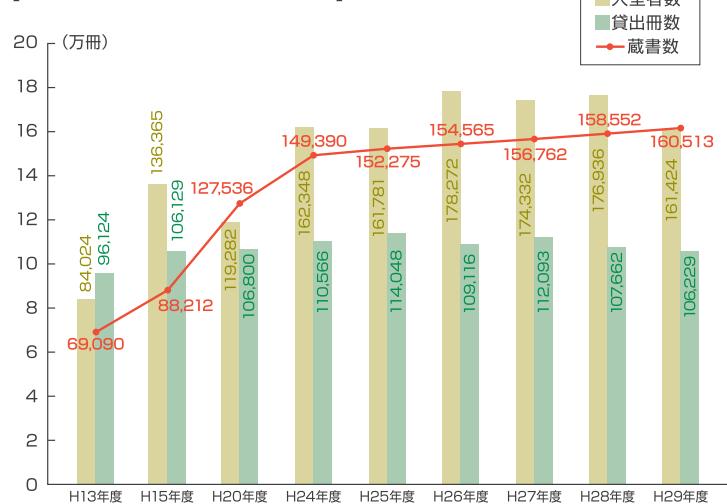
市立図書館とオンラインで結ばれ、他の市立図書館と同様に利用できる一般図書室と、北九州学術研究都市に進出している大学の専門図書を集中配架する専門図書室を運営しています。

また、パソコンを配備した講義室や、遠隔地とリアルタイムでテレビ会議ができる遠隔講義室等を備えています。



学術情報センター

【図書室利用状況・蔵書数の推移】



### コンベンション・体育施設

**会議場**／大型映像装置や同時通訳設備を備えた460席の会議用ホールで、講演会やセミナー、学会や国際会議等に利用できます。懇親会や展示会等に活用できるイベントホールを併設しています。

**会議室**／数人から200人規模まで、ニーズに応じた様々な形態の会議や研修、地域活動等に利用できます。

**体育施設**／大学の授業やサークル活動の時間以外は、地域や有志クラブ等の活動に利用できます。  
(体育館・運動場・テニスコート)



会議場(外観)



会議場(メインホール)



会議場(イベントホール)



会議室



研修室



体育館



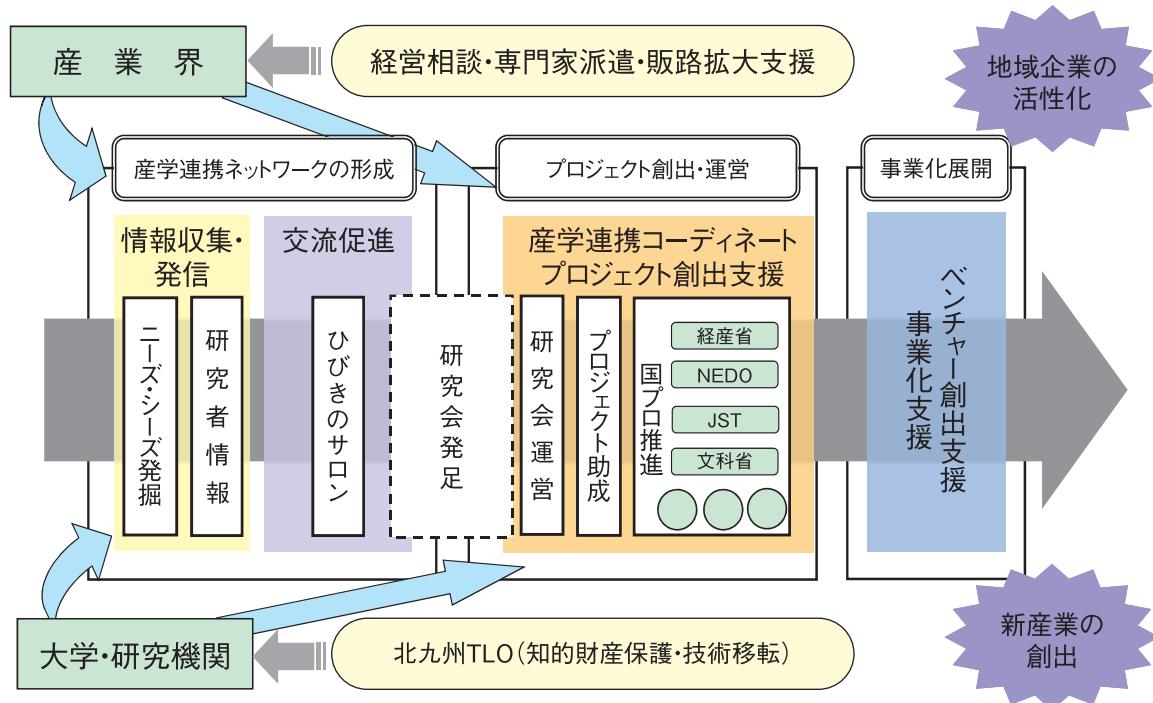
運動場



テニスコート

# 産学連携の推進

## 産学連携の取り組み(全体フロー)



## 情報収集・発信、産学交流の促進

### 学研都市内研究者の情報提供

- FAISのHP上に「研究者情報データベース」を構築  
— 技術キーワードや所属、研究者名等で検索可能
- データベースの情報を基に「北九州学術研究都市の研究者情報」(ダイジェスト版)を作成

毎年、市内外の企業等に配布

【H29年度配布数】 ◎ダイジェスト版

約2,000部



研究者情報データベース  
TOP画面



研究者情報冊子等

### メールマガジンによる情報発信

- 「産学連携センターNews」を配信中(平成16年9月～)  
セミナー情報や産学連携に関するトピックを隨時掲載

- ◎配信先
- ◎配信件数
- ◎毎週月曜日配信

約7,300件  
763通配信 (平成30年4月1日現在)

## 常設の産学交流の場

### 産学交流サロン(ひびきのサロン)の開催

北九州学術研究都市から新たな産学連携の動きが次々と生まれてくることを目指し、産学官から複数の研究者等が特定の技術テーマについて自由に意見を交換する交流の場「産学交流サロン」を開催しています。平成14年度のスタートから平成29年度までに165回開催し、のべ16,235人が参加しています。

#### 【平成29年度実績】

日 時	テーマ	講 師	参 加 人 数
第156回 4/10	「AI、自動運転、ロボットの現状と未来」	カーネギーメロン大学 九州工業大学 金出 武雄 氏 我妻 広明 氏	169
第157回 4/21	北九州市立大学 バイオメディカル材料開発センター シンポジウム 「北九州地区に先進バイオテクノロジーの産業の芽を」	九州大学 新海 征治 氏 東京工業大学 赤池 敏宏 氏 北九州市立大学 櫻井 和朗 氏	275
第158回 8/31	AI応用最前線 ー社会実装を目指してー	MathWorks Japan 井上 道雄 氏 (株)ネクステイエレクトロニクス 滝 将太 氏 (株)LIFULL LIFULL Lab 清田 陽司 氏	100
第159回 10/6	産業界で活躍する技術系人材に求められるものとは ～第4回カーエレ・カーロボ連携大学院交流会～	(株)安川電機 岡林 千夫 氏 九州工業大学 森江 隆 氏 早稲田大学大学院 沈 篠昕 氏 (公財)北九州産業学術推進機構 牛飼 修司 氏	56
第160回 11/14,15	合同企画 第160回産学交流サロン「ひびきのサロン」と 第11回IPS海外連携シンポジウム(ISIPS2017)	早稲田大学大学院 馬場 孝明 氏 上海交通大学 Mr. Xiaohua Tian	142
第161回 11/20	「IoT社会におけるトリリオン(1兆個)センサの世界」	国立研究開発法人産業技術総合研究所 寺崎 正 氏 (株)ピーエムティー 三宅 賢治 氏	44
第162回 1/26	「介護ロボットの現状と開発・評価の要点」	大阪工業大学 本田 幸夫 氏 産業技術総合研究所 松本 吉央 氏 富士機械製造(株) 中根 伸幸 氏	85
第163回 2/9	「最先端ロボティクス技術の展開」	早稲田大学 尾形 哲也 氏 中部大学 藤吉 弘亘 氏 九州工業大学 西田 健 氏	124
第164回 3/2	「パワエレ・オープンラボ研究～先端パワーエレクトロニクス研究の オープンイノベーション型産学連携～」	九州工業大学 大村 一郎 氏 九州工業大学 渡邊 晃彦 氏 九州工業大学 長谷川一徳 氏 九州工業大学 金田 寛 氏	50
第165回 3/9	「3Dものづくり技術セミナー」	(株)ストーンスープ Formlabs Japan 浦元 淳也 氏 Tanosy Japan Inc. 新井原慶一郎氏 濱崎 トキ 氏	50

## 産学共同による研究会の企画運営

### 平成29年度研究会活動

先端的で波及効果が高いと予想される技術分野に関するテーマや、事業化の可能性の高いテーマについて、産学共同による研究会を企画・運営し、研究開発につなげる活動を進めています。

また、研究会の取り組みは、国等プロジェクトの採択につながっています。

平成29年度は「3Dものづくり技術研究会」や「北九州革新的価値創造研究会」など21の研究会を運営しました。

#### 1. 3Dものづくり技術研究会

3Dものづくり技術(CAD・CAM・プリンター等)による飛躍的な生産性向上や新しいものづくりの実現を目指し活動しています。

平成29年度は、企業のための啓発セミナー(2回)と無料相談会を開催しました。

##### ①『3Dものづくり技術セミナー&見学会』

(テーマ:CAM)

##### ②『3Dものづくり技術セミナー』

(テーマ:3Dプリンター)

##### ③無料相談会

(企業3社の抱える課題に対し、

3D専門家が適切な指導実施)



無料相談会



最新の光造形3Dプリンター紹介

#### 2. 北九州革新的価値創造研究会

北九州市と九州工業大学の共同事業である「IoTによるアクティビシニア活躍都市基盤開発事業」における基盤構築プロジェクトとして平成29年5月に発足しました。

研究会活動の推進により産業界・教育機関・自治体・金融機関等との新たな連携体制を構築し、北九州地域におけるイノベーションの加速化とエコシステムの形成を目指しています。



北九州革新的価値創造研究会  
Kitakyushu Innovative Value Creation Consortium

大学等発シーズ・製品・試作品

北九州革新的価値創造研究会

フィードバック  
・新規テーマ  
・新規ニーズ

地域知的資産を活用したテーマ創出

地域事業化・実証プロジェクトスタートアップ

# 研究成果の特許化と技術移転《北九州TLOの運営》

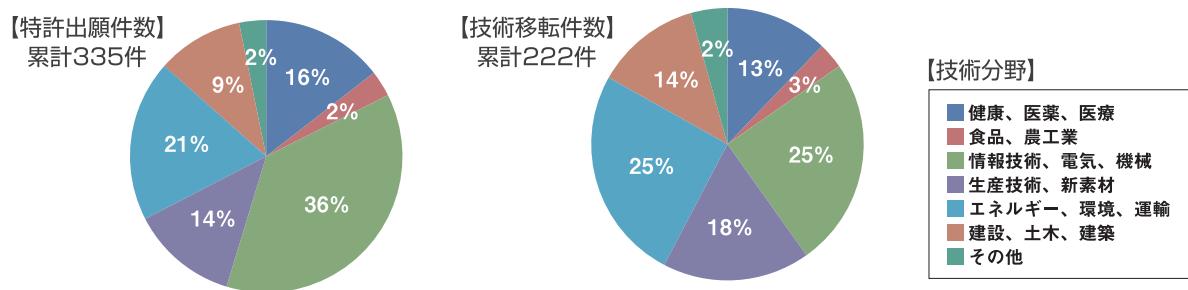
FAISは「北九州TLO (Technology Licensing Organization)」を運営し、地域の大学等の研究者が生み出した研究成果(発明)を特許化し、それらを民間企業へライセンス契約等によって技術移転しています。この技術移転により企業から得られたライセンス収入等の大半を研究者や大学に還元し、新たな研究開発につなげています。北九州TLOの保有技術シーズは、ホームページでも紹介しています。<http://www.ksrp.or.jp/fais/iac/project/tlo.html>

## 北九州TLOの仕組み・特許出願等



**研究成果提供大学等** 九州工業大学、産業医科大学、北九州市立大学、九州歯科大学、西日本工業大学、九州共立大学、中村学園大学、北九州工業高等専門学校

これまでの特許出願およびライセンス契約の件数(累計)と技術分野の内訳



これまでに事業化・製品化された事例(一部掲載)

名 称	発明者・研究代表者
水添加型の界面活性剤系組成物(環境に優しい泡消火剤)	北九州市立大学 上江洲 一也 教授
医学実習用解剖台(ホルムアルデヒドの直接曝露防止)	産業医科大学 大和 浩 教授、菊田 彰夫 教授 他
マイクロ波を用いた減圧乾燥方法及びその装置	九州工業大学 鶴田 隆治 教授 他
あらゆる流動物質を測定できる極めてシンプルな測定機	九州歯科大学 西原 達次 教授、柿木 保明 教授 他
アスペルギルス属菌及びリゾーブス属菌の混合培養系を用いたアミラーゼの生産方法(「高い酵素活性」や「豊富な酸」を持つ新しい麹菌)	北九州市立大学 森田 洋 教授 他

環境に優しい泡消火剤



マイクロ波を用いた減圧乾燥方法  
及びその装置



あらゆる流動物質を測定できる  
極めてシンプルな測定機



# 研究開発支援

平成30年4月現在

## 企業・大学等が実施する研究開発に対する支援

大学等の研究機関、市内企業が実施する研究開発のために助成金を交付し、新技術・新製品の開発を支援しています。

### FAISの研究開発に対する支援制度

#### ◎新成長戦略推進研究開発事業

名 称	概 要	対象者	助成額（助成率）	助成期間
シーズ創出・実用性検証事業	北九州市新成長戦略に定める成長分野に 関し、実用化を目指すシーズを見出し、そ の可能性を検証するための調査・研究に対 して補助金を交付	市内大学等	100万円(1/1)	1年以内
実用化研究開発事業	北九州市新成長戦略に定める成長分野に おいて、実用化が見込まれる新技術・新製 品の研究開発に対して補助金を交付	市内企業等	中小企業500万円(2/3) その他500万円(1/2)	2年以内

### 平成29年度採択実績

#### 【シーズ創出・実用性検証事業】19件

採択テーマ名	申請企業・大学
マグネシウム全固体二次電池創出へむけたイオン伝導性固体電解質合成と物性評価	九州工業大学
固体酸化物形燃料電池製造用3Dプリンターの開発研究	北九州市立大学
蒸気ヒートプレッサーを用いた次世代パワー半導体モジュール用熱制御技術の提案	北九州市立大学
ナノ粉碎技術による未利用資源のアップグレードリサイクルに向けた技術シーズ開発	九州工業大学
高放射線・高振動衝撃環境下でも機能する自律型ロボット制御コンピュータ	九州工業大学
再生可能エネルギーの大量導入を加速する地域電力供給システム・需給マネジメント方式の開発	九州工業大学
センサーネットワーク孤立電源用円筒形太陽電池の開発	九州工業大学
流動層技術により高度に触媒粒子をハンドリングした有機物の熱分解無害化減容装置の開発と実証	九州工業大学
爆発性のない安全な固体求電子的アジド基導入剤の開発	九州工業大学
オフィスを対象とした躯体蓄熱型放射空調システムの最適運用条件及び制御手法の提案	北九州市立大学
スパースモデリングにもとづく電力ネットワークの大規模データ分析	北九州市立大学
パワーアレクトロニクスモジュールの予防保全に向けた超音波故障モニタ技術の開発	北九州市立大学
ドローン撮影画像中のモヤの除去技術の研究	(一社)無人機研究開発機構
文書マネジメントシステム等導入に伴うペーパーストックレス化による業務施設の環境性能向上効果検証	北九州市立大学
レーザ光を用いた超小型・安価な歯車異常診断および振動騒音予測装置の実用化	早稲田大学
小売電気事業者における中小企業への電力供給のための情報技術を利用したビジネスモデル	早稲田大学
量産ガソリンエンジン用シリンドヘッドガスケット内蔵型イオンセンサによる燃焼診断システムの開発	北九州市立大学
地域の需給特性に応じたエネルギー・マネジメント支援システムの設計・開発	北九州市立大学
低消費電力セキュアLSIとそれを用いたIoT用認証システムの研究	早稲田大学

#### 【実用化研究開発事業】9件

採択テーマ名	申請企業・大学
介護労働の作業分析自動化のためのウェアラブル作業動作センサシステムの開発	リーフ(株)
自動痰除去システムのための人工呼吸器用呼気センサの開発	九州クリエートメディック(株)
抗酸化マテリアルを利用した肌用の新規塗布剤・貼付剤の開発	(株)新菱
IoTビジネスのための料金計算パターンと最適化についての実証実験	ビーブラツツ(株)
マグネシウム合金粉末を用いた積層造形品の開発	(株)戸畠製作所
【継続】人工知能技術を搭載した音声エージェントシステムの研究開発	(株)コンピュータサイエンス研究所
【継続】障害者スポーツ選手向けメンタルコンディションチェックアプリの開発	(株)ブラテック
【継続】装着型パワーアシストユニットの開発	(有)ICS SAKABE
【継続】持続陰圧洗浄療法システムの開発	九州クリエートメディック(株)

## FAIS助成制度の主な成果事例(平成29年度採択テーマより)

### 【研究テーマ】

障害者スポーツ選手向け  
メンタルコンディション  
チェックアプリの開発

### 【申請企業】

(株)ブラテック

### スマホカメラで脈波計測

取得データ・  
脈波特徴量の  
信頼性向上



### 【研究テーマ】

装着型パワーアシストユニット  
の開発

### 【申請企業】

(有)ICS SAKABE



障害者スポーツ選手向けメンタルコンディションチェックアプリを改良し、音声入力機能の搭載、カメラによる脈波測定機能の信頼性を向上させました。選手は練習日誌にスマホから入力していくだけでコンディションの管理ができる、日々のフィジカル・メンタル状態に對して具体的に何をすべきかというフィードバックを得ることができます。



開発2年目の平成29年度は、配膳車に用いることを想定し、最初にモータを見直して電磁クラッチを追加し、軽い操作性を実現しました。また加減速制御にも取り組み、傾斜センサを使用することでスロープでの運搬にも対応できるようになりました。

## 国等の資金を活用した研究開発プロジェクトの推進

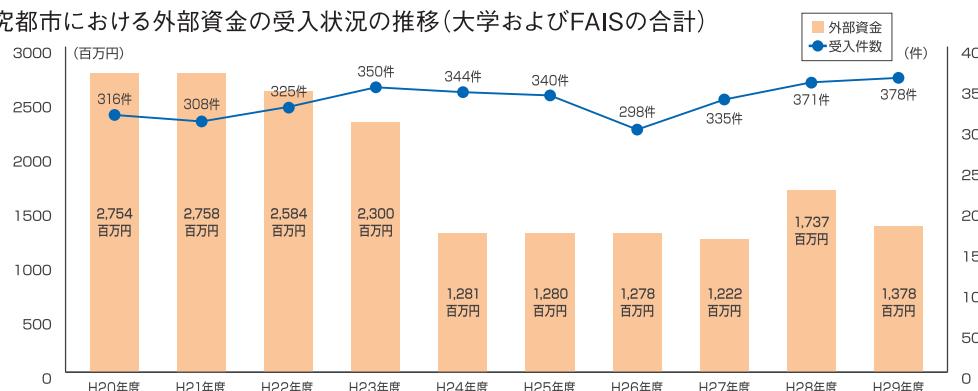
「戦略的基盤技術高度化支援事業(経済産業省)」や「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム(文部科学省)」等、国等の資金を活用した産学連携の研究開発プロジェクトを積極的に実施しています。

平成29年度は、各大学における受託研究等と合わせて378件のプロジェクトを取り組みました。

中でも経済産業省が進める「スマートものづくり応援隊事業」では、中小企業の生産性向上を目的に「指導者育成(スクール)事業」と「現場派遣事業」を実施しました。

### 外部資金の積極的な獲得

北九州学術研究都市における外部資金の受入状況の推移(大学およびFAISの合計)



### 近年の主な研究開発プロジェクト

#### 経済産業省

外観検査装置の検査精度向上のための曲面配線技術を用いたLEDリング照明の開発	28年度～30年度 9,800万円
【戦略的基盤技術高度化支援事業】	
圧延用大径ロールの開発	29年度～31年度 9,800万円
【戦略的基盤技術高度化支援事業】	
スマートものづくり応援隊事業	29年度
【中小企業経営支援等対策費補助金】	1,250万円

#### 内閣府

ハイブリッド自動車向けSiC耐熱モジュール実装技術の研究開発	26年度～30年度 8億4,000万円
【戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）】	

#### 全国中小企業団体中央会

竹一プラスチックコンポジット材を活用した事業の推進	26年度～28年度 2,400万円
【ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業】	

#### JST

スマート社会創造に向けたソーシャルイノベーション研究開発・実証拠点	27年度～28年度 3億3,500万円
【世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチコンプレックス）推進プログラム】	

#### 文部科学省

IoTによるアクティビシニア活躍都市基盤開発事業	28年度～32年度 2,150万円
【地域イノベーション・エコシステム形成プログラム】	

## FAISが支援した研究開発プロジェクトの主な事例

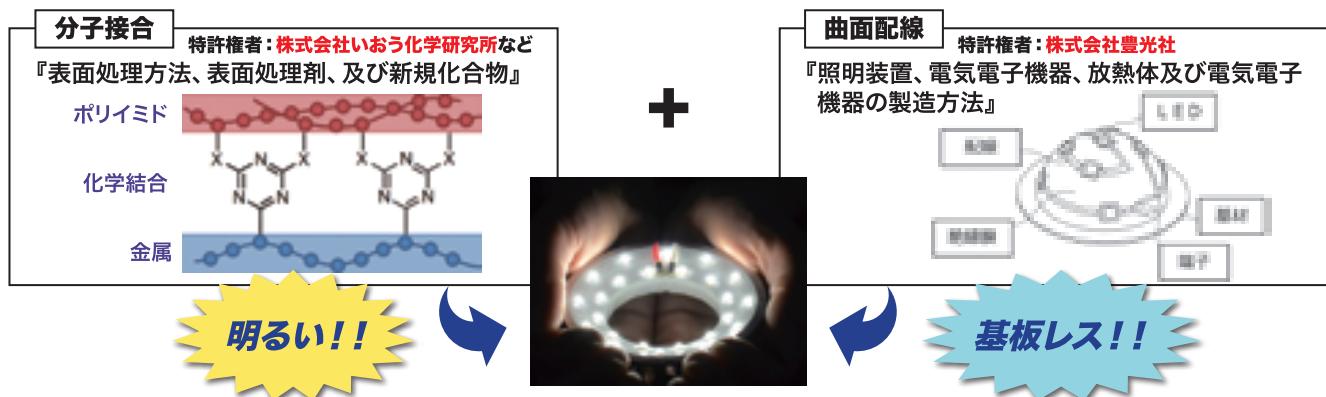
### ◎外観検査装置の検査精度向上のための曲面配線技術を用いたLEDリング照明の開発

配線基板に実装された電子部品の外観検査装置では、リング照明でワーク全体に光を照射した画像を処理して判定を行います。ワークの広範囲を明るく照らすことで検査精度や作業効率を向上するというニーズに応えるため、本事業では曲面配線技術を用いて、検査部を高照度化・照度均一化できる画像処理用LEDリング照明を開発。

従来のLEDリング照明は、シート状のフレキシブル基板に砲弾型LEDを実装して円錐状に曲げて筐体に貼り付ける構造で、この組立方法では熱伝導性グリースを接着剤として使用するため、界面での熱抵抗が大きくなります。LED照明を明るくするために、高密度にLEDを配置したり、LEDの出力を大きくしたりすると、LEDからの発熱の放熱性能が足りなくなることが問題となっていました。

本事業では、新しい接合技術（分子接合技術）を用いた曲面配線でLEDリング照明を作製することで、放熱性能を格段に向上させた信頼性の高い高輝度LEDリング照明を実現しました。この曲面配線技術は、金属、樹脂およびセラミックに対応できる技術として、さまざまな製品への適用が期待されます。

### 新技術：分子接合技術を用いて金属などの曲面基材に絶縁膜と配線パターンを形成し、高信頼性・高放熱性曲面基板を実現



【事業名】 経済産業省 戰略的基盤技術高度化支援事業

【参画機関】 (株)豊光社、北九州市立大学、福岡県工業技術センター機械電子研究所、(株)いおう化学研究所

【事業期間】 平成28年度～30年度

## ロボット・IoT・AI等を活用した生産性向上支援事業 ～スマートものづくり応援隊事業～

### 1. 指導者養成スクールの開催

中小企業の生産性向上を支援するため、ロボット、IoT、AIといった新技術の導入をコーディネートする人材育成を目的とするスクールを開講。

実施時期：平成29年8月～平成30年1月（全19講座）  
内 容：生産性向上のための基礎編、IoT編、ロボット編など  
受講者数：延べ約530名

### 2. 中小企業への専門家派遣

中小企業がロボットやIoT導入により生産性向上を目指す際に、知見を有する専門家を派遣。

派遣回数：計38回

### 【スクールのカリキュラム（平成29年度）】

No.	科 目
基 礎 編	1 国の施策とロボット・IoT導入動向
	2 ロボットシステム導入基礎講座
	3 職場改善の基本(5SとIE)
	4 生産管理と従業員の意欲向上講座
	5 AI・IoTを活用した生産性向上とビジネスモデル
	6 自社の生産性を向上しよう！講座（前半）
	7 自社の生産性を向上しよう！講座（後半）



No.	科 目
I O T 編	1 ものづくりIoT現場革新セミナー
	2 IoTビジネスモデル構築ワークショップ(製品編)
	3 IoTビジネスモデル構築ワークショップ(工場編)
	4 ワークショップ実施手法のスキルトランステー研修
	5 1万円以下でできるIoT(Raspberry Piで始めるIoT)
ロ ボ ッ ト 編	1 産業用ロボット基礎講座
	2 パラレルリンクロボット基礎講座
	3 ビジョン応用講座
	4 協働ロボット体験講座
	5 ロボットシミュレータ活用講座
	6 ロボット・IoT連携体験講座
WS	1 ロボットシステム導入ワークショップ

# 技術拠点化の推進

## 半導体・エレクトロニクス技術拠点化の推進

### 半導体・エレクトロニクス関連企業支援

半導体設計ツールやIC・MEMS微細加工装置、評価・解析機器を整備し、半導体・エレクトロニクス関連企業に対して、設計から製造、評価・解析までの一貫した設備環境を提供し、北九州市における半導体産業の振興に努めています。

#### ■ IC・MEMS微細加工環境の提供

共同研究開発センターの半導体設計ツールと微細加工設備をベースに、IC・MEMSの微細加工プロセスの提供を行っており、文部科学省所管のナノテクノロジープラットフォームの一員として、「微細加工」分野の学術的な基礎研究から産業界における研究開発まで幅広く、大学、企業、研究機関などを支援しています。

#### ■ 半導体評価・解析環境の提供

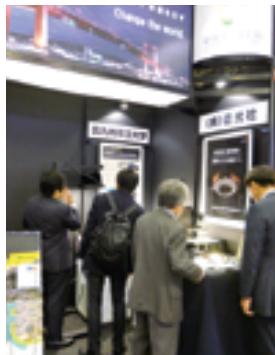
信号発生器や波形分析器等の評価機器、X線透視装置やマイクロスコープ等の解析機器及び環境評価装置など、充実した評価・解析環境を提供しているほか、ひびきのLEDアプリケーション創出協議会などの研究グループに対し技術サポート等を実施しています。

### ひびきのLEDアプリケーション創出協議会の活動

当協議会は、北九州学術研究都市発の新たなアプリケーション創出や地域企業のLEDアプリケーション事業への参入促進などをを目指して活動しており、市内中小企業等の研究開発や販路開拓の支援を行っています。

#### ●平成30年4月現在／

会員数 135名、登録研究グループ 18件



展示会出展支援  
(LED・半導体レーザー技術展)



協議会活動の成果品(北九州市トライアル発注認定新商品)



### 半導体技術者育成講座(ひびきの半導体アカデミー)の開催

半導体技術者育成講座「ひびきの半導体アカデミー」では、半導体・エレクトロニクス関連企業の技術者などを対象として、社会や産業界に貢献するアプリケーションを創出するための知的基盤や技術力・研究開発力の向上等につながるプログラムを提供しています。

当アカデミーは、学研都市開設以来、これまでに累計約5,700名の方に受講いただき、数多くの半導体技術者を輩出しています。

#### ●平成29年度／講座数 6講座、参加者数 153名

##### 講座風景



集積回路設計試作基礎講座



自動運転時代のセンシング技術セミナー

## 自動車技術拠点化の推進

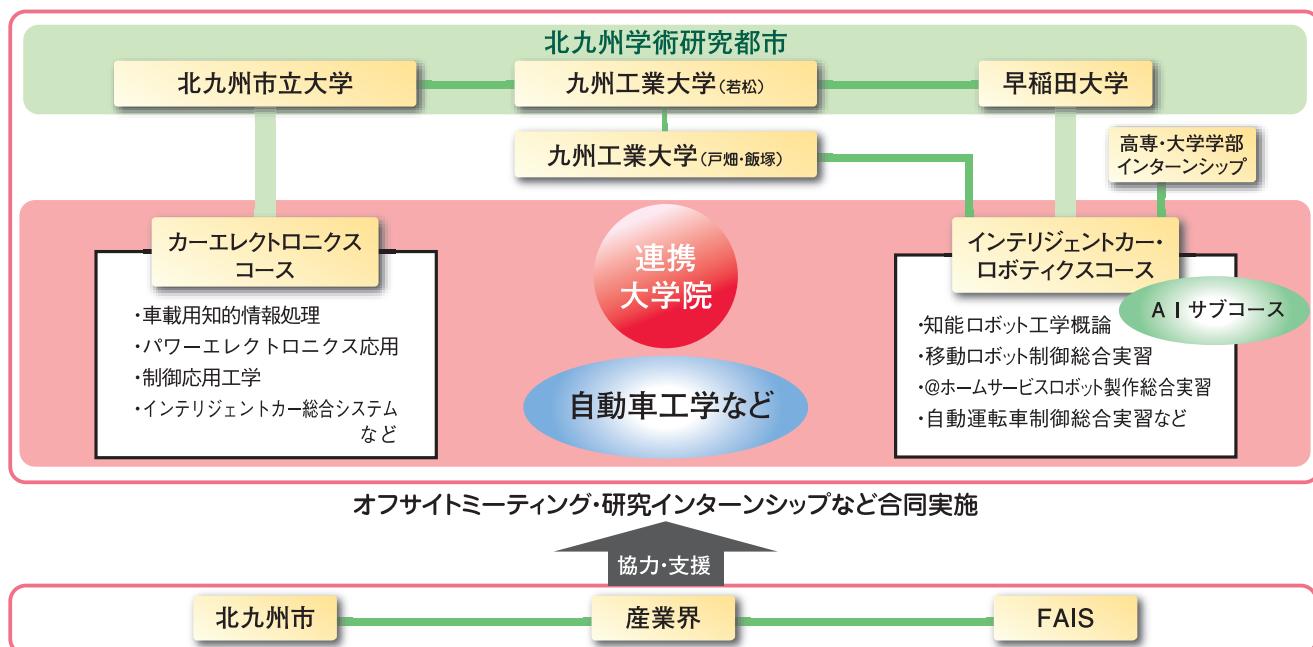
北九州地域における次世代自動車技術の拠点化を目指し、北九州学術研究都市における高度人材の育成を支援とともに、産学連携による先端的研究開発を支援しています。

### 人材育成の推進

#### (1) 連携大学院

自動車とロボットの分野で次世代を担うリーダーとしての高度専門人材の育成を目的に、学研都市の3大学が運営する連携大学院の教育プログラムを支援します。

同大学院では、人工知能(AI)の研究開発を担う人材育成が急務であることを踏まえ、平成29年度から「インテリジェントカー・ロボティクスコース」の科目を見直し、新たに「AIサブコース」を設置するとともに、更なる教育内容の充実を進めます。



#### (2) 社会人のIoT・AIの教育プログラム

IoT技術の社会実装を通じ、地域産業の競争力強化を目指す実践的な人材育成プログラム(enPiT-everi)の提案が、文部科学省の「成長を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT-Pro)」事業に採択されました。FAISはプログラムの企画・提案や、採択後のカリキュラム構築をサポートします。

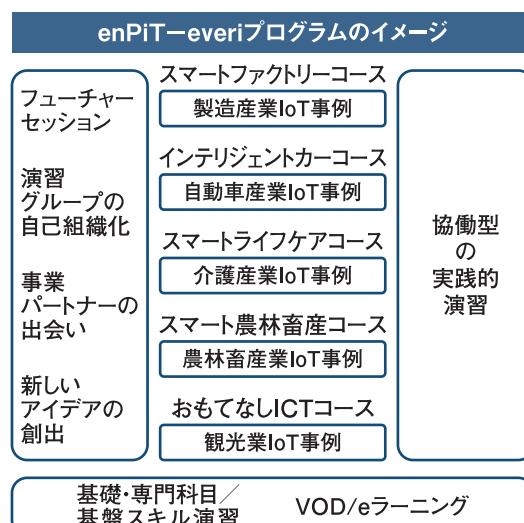
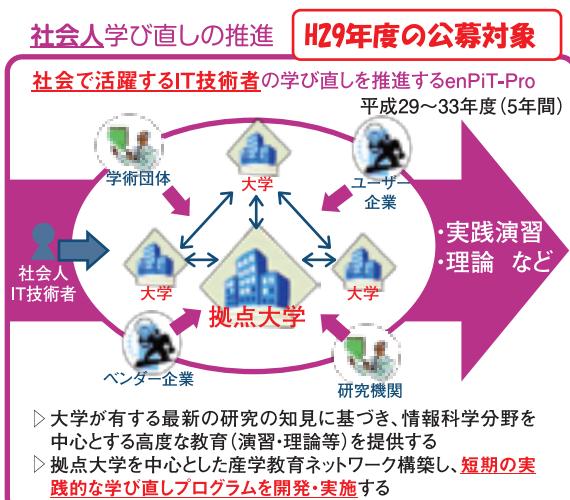
プログラム提供校 代表校:北九州市立大学

連携校:九州工業大学、熊本大学、宮崎大学、広島市立大学

協力校:早稲田大学

スケジュール H30年度:一部の授業、実習開始

H31年度:本格開始



## 研究開発の推進

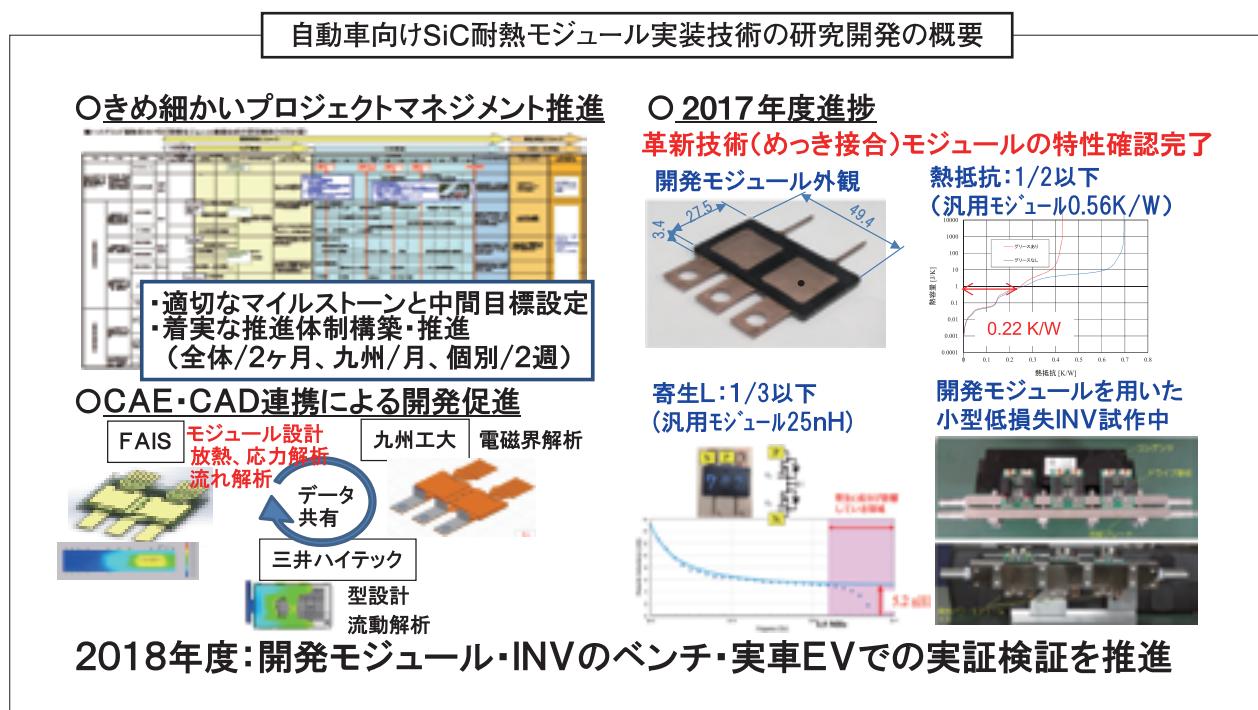
学研都市の研究シーズを活かした産学連携による研究開発をコーディネートし、次世代自動車技術やAIの社会実装に向けた研究開発機能の拠点化を目指します。

### (1) 次世代自動車技術に関する研究開発支援

産業界からのニーズが強く、実効性の高い研究テーマについて、国のプロジェクトを活用した研究開発を支援しています。

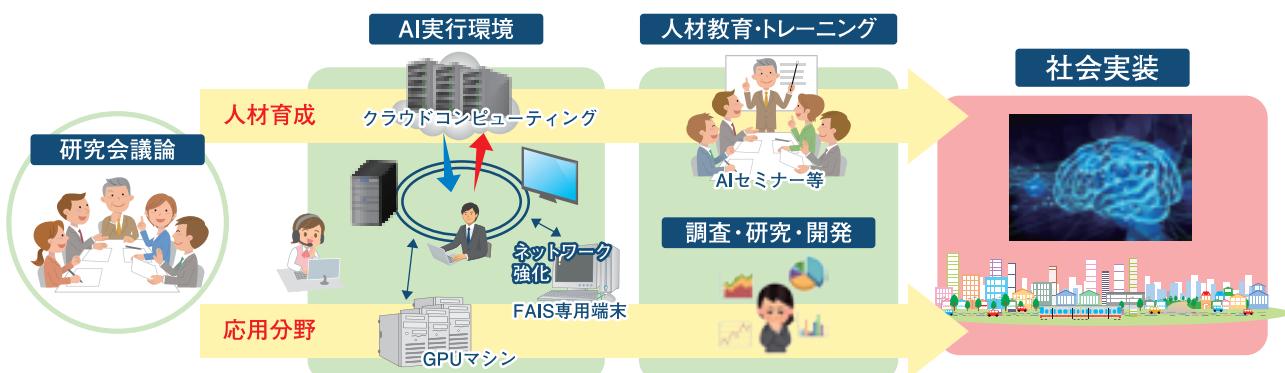
#### 【現在の研究テーマ】

- ①自動車向けSiC耐熱モジュール実装技術の研究開発
- ②理論知識型AIとデータ駆動型AI統合による自動運転用危険予測装置の構築と公道実証



### (2) AIの社会実装に向けた研究開発

企業ニーズと学研都市研究者の技術シーズのコーディネートを行い、AIを活用した電力需要の予測システムの確立・自動化や、難病の治療をサポートするシステムの実現など8つのテーマについて研究開発を進めています。また、人との親和性の高いシステム構築に貢献する基盤技術(スペースモデリング)や、実時間処理や低電力消費を実現するAI向けのハードウェアの研究開発を支援します。

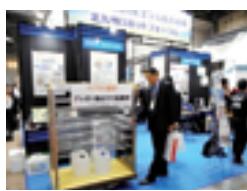


## ロボット技術開発拠点化の推進

### ロボット研究開発支援

- ロボット関連プロジェクト支援
- 市内発ロボット創生事業
- 実証・事業化の支援
- ロボット産業マッチングフェアの開催
- 国際ロボット展等への出展支援
- 各種技術セミナーの開催

※北九州ロボットフォーラムの事務局として新ロボット開発を推進



開発支援したロボットを国際ロボット展へ出展

### 産業用ロボット導入支援

- ロボット導入による生産性向上支援
- ものづくり人材育成講座の開催
- ものづくり企業への現場派遣
- 各種補助金の申請支援
- システムインテグレータとの連携推進
- ロボット導入につながる情報提供



産業用ロボット導入支援センターの設備

※産業用ロボット導入支援センターの名称のもとに、ロボット導入に関わる取り組み実施

### 【平成29年度の取り組み】

#### ロボット研究開発支援

#### 食事搬送アシストロボット

FAIS新成長戦略推進研究開発事業(H28-29)




病院内で使用される食事の配膳車に装着可能なパワーアシスト用駆動モジュール、センサ内蔵ハンドルなどを改良する開発を支援。病院などの施設で実証実験を実施。

#### 人と協働する海岸清掃ロボット

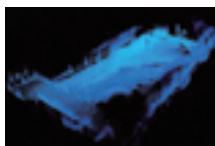
ロボット開発支援事業(H29)




海岸清掃におけるごみ運搬を助ける目的で、人と協働して移動するごみ搬送ロボットの開発を支援。試作品は実際に海水浴場での清掃活動で使用し、人追従などの機能検証を実施。

#### 山林環境計測ロボット

ロボット開発支援事業(H29)

山林における木々の伐採に先立ち木の本数や太さを見積もる目的で山林環境マップを作成するために、傾斜した林道や障害物等を回避しながら自律走行する移動ロボットの開発を支援。

#### 平行移動式ドローン

市内発ロボット創生事業(H29)




インフラ点検において、強風下でもドローンの水平姿勢を維持するために、アームやプロペラの配置と制御を工夫することにより姿勢維持性能を向上させたドローンの開発を支援。

研究開発支援

#### 産業用ロボット導入支援

産業用ロボット導入支援センターでは、ロボット導入による市内企業の生産性向上・ものづくり力強化を目的にロボット導入を総合的に支援します。

- ロボット導入に関する企業訪問・技術相談
- 人材育成(ロボット技術者およびシステムインテグレータ)
- ロボット導入に関する情報発信

##### H29年度の成果

###### ●国プロ採択

スマートものづくり応援隊事業

- ・企業訪問・現場派遣 242件
- ・生産性向上スクール(全18回 参加者合計92名)

###### ●ロボット導入支援件数 6件

###### ●導入事例のチラシ・動画作成



①産業用ロボット基礎



②パラレルリンクロボット基礎



③ビジョン応用



④協働ロボット体験



⑤ロボットシュミレータ活用



⑥ロボット・IoT連携体験



導入支援

# 国家戦略特区の取り組み

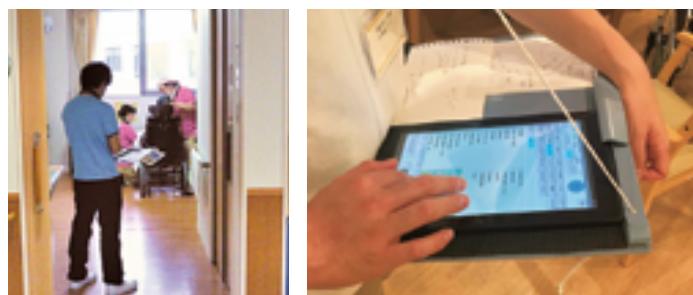
## 介護ロボット等を活用した先進的介護の実証・実装

平成28年に国家戦略特区「介護ロボット等による先進的介護の実証・実装」に指定された北九州市の委託を受け、介護ロボット等の導入による介護の質の向上と作業効率化、介護従事者の負担軽減、介護ロボット等の市場拡大などの実現に取り組んでいます。



## 介護ロボット等導入・実証事業

介護従事者の負担軽減を目的とした介護ロボット等の導入を進めるため、介護施設において、介護作業の分析や介護ロボット等の導入、実証を行っています。



### 介護施設の作業観察及び分析

労働現場や労働災害に関する調査・分析に経験、実績、知見のある学術機関等と共同で、介護施設における介護従事者の作業を観察・分析し、身体的負担や時間的負担等の課題を抽出しました。

左側の写真は「作業観察風景」として、右側の写真は「作業観察ツール」として示されています。

### 介護ロボット等の導入と実証

作業観察・分析によって明らかになった課題を解決するための介護ロボット等を、介護施設と協議のうえで選定し実証を行いました。実証にあたって、導入教育や運用マニュアル作成を実施し、より効果的に運用できるよう努めました。導入後に再度、作業観察・分析を行い、導入した介護ロボット等の効果検証を行いました。



## 介護ロボット開発事業

介護現場のニーズに沿った実用的な技術開発と国家戦略特区事業効果の最大化に貢献するため、「北九州市介護ロボット開発コンソーシアム」の運営を行い、介護従事者の負担軽減、介護現場の効率化等に資するロボット関連技術の開発支援を行うとともに、北九州市特区事業への参画企業（メーカー）が集積するための環境整備を図っています。

写真は「実証風景」として示されています。

### 北九州市介護ロボット開発コンソーシアム

介護ロボットの開発・改良プロジェクトを企画し、開発に協力可能な会員を募集しています。会員に対して、介護現場における作業分析データの提供や実証フィールドの提供、安全性検証、倫理審査にかかるサポート、開発費補助等の介護ロボット等開発・改良支援をしています。

平成28年度、29年度に実施した作業分析の結果を踏まえ介護現場の意見を聞きながら、介護作業の効率化、介護従事者の負担軽減に役立つ介護ロボット等の開発・改良を行っています。平成29年度は、3件の公募を行い開発・改良を支援しました。また、先進的介護の実現に向けた新たな排泄空間づくりの提案をしました。

●平成30年4月現在:会員数 31企業 5大学 4機関

# 中小企業・ベンチャー企業の総合的支援

## 中小企業の総合的支援

### 中小企業の経営支援

#### ◎総合相談・休日創業相談の実施

中小企業診断士等の専門家を窓口に配置し、市内中小企業が抱える様々な相談に対応しています。また、平日に来訪が困難な創業予定者には、休日(土・日)相談を実施しています。

#### ●平成29年度実績／総合相談件数813件、休日創業相談2件

直接企業に出向いて様々な相談に応じる巡回専門相談員を配置し、訪問企業に対し支援メニューや支援担当部署等の紹介をしています。

#### ●平成29年度実績／247社

#### ◎専門家の派遣

経営革新等に積極的に取り組もうとする中小企業に対し、専門家(登録237名)を派遣して支援をしています。

#### ●平成29年度実績／17件、94回

### 中小企業支援センター



チーフマネージャー  
河端 宏  
(かわた ひろし)

地元金融機関出身。  
金融機関での長年の経験を活かし、中小企業の資金繰りや融資相談、創業相談など、経営全般に関わる相談への支援をきめ細かく行う。



マネージャー  
堺 武志  
(さかい たけし)

合同会社 JEXPO 代表。  
技術士(総合技術監理、建設、上下水道部門)。環境・建設分野の技術者としての経験と、自らIT・外国語を駆使して創業した知識を生かし、中小企業の欧州等海外向け販路開拓支援に取り組む。



マネージャー  
百々 美香  
(もも みか)

合同会社企画室M 代表。  
大手広告代理店勤務経験等を活かし、企業プランディング、新規事業プロデュース、ITサービスを活用したプロモーション企画等を得意とする。女性起業家支援にも力を入れている。



マネージャー  
落合 弘  
(おちあい ひろし)

落合弘税理士事務所所属。  
税務・会計の専門家として創業予定者に対する事業計画策定、資金調達、会社設立のアドバイス、中小企業に対する経営改善、資金繰り、事業承継のアドバイスなど、総合的な支援を行う。



巡回専門相談員  
村田 信敏  
(むらた のぶし)

中小企業診断士。  
市内の製造業を対象に訪問し、各種相談に応じる。支援施策や担当部署を紹介。



マッチング  
コーディネーター  
財前 秀生  
(さいせん ひでお)

県内の中小企業情報や全国の発注企業、自動車産業などの情報を精通。製造業の受発注のマッチングを担当。

#### ◎創業支援の実施

開業資金の調達や事業計画の策定など創業に関する相談や創業セミナーを開催することにより、創業希望者に対し開業までの支援を行っています。

#### ●平成29年度実績／創業31社

#### ◎マッチングコーディネートの実施

幅広い人脈を持つマッチングコーディネーターがものづくり企業の取引先や提携先を紹介し、販路開拓を支援します。さらに、地場企業の取引拡大・受注機会増大を目的とした商談会も開催しています。

#### ●平成29年度実績／マッチング件数63件、成約件数5件、商談会開催4回

## 知的財産の活用支援

#### ◎北九州知的財産支援センターの運営

北九州地域の中小企業の新技術・新製品開発や新たな特許取得等を促進するため、知的財産権に関する相談・指導や特許活用等の支援を行っています。

#### ●平成29年度実績／発明相談72件

特許活用(成約)1件

企業相談・指導911件

#### 北九州知的財産支援センター



知財トータル  
サポーター  
熊本 洋  
(くまもと ひろし)

電機、窯業メーカー出身。  
製品開発において多くの特許出願実績を有し、知財業務に精通。  
知財基礎力の向上、特許等出願、知財戦略等トータルで支援を行います。



知財トータル  
サポーター  
武内 洋介  
(たけうち ようすけ)

住宅設備メーカー出身。  
研究、開発、製造の経験を活かし特許・意匠・商標の出願サポートに留まらず、知的財産を通して企業の業績向上に貢献できるよう支援を行います。

※平成30年4月1日、北九州知的所有権センターの名称が、「北九州知的財産支援センター」に変更になりました。

# ベンチャー企業の創出・育成

## ベンチャー企業の成長支援

### ◎インキュベーションオフィス「北九州テレワークセンター」の運営

小倉駅北口のAIMビルに設置されたインキュベーション施設「北九州テレワークセンター」について、北九州市から指定管理者としての指定を受け(平成25年度～29年度)、情報通信技術を活用して新たなビジネスを展開しようとするベンチャー企業に対してオフィスを提供しました。なお、FAISにおける指定管理業務は、平成29年度で終了となりました。

#### ●平成29年度末／入居企業数17社



北九州テレワークセンター

### 「インキュベーション」とは

「ビジネスインキュベーション」の略語で、一般的には「企業ふ化」などと訳されています。当財団では、「新事業創出のための支援」と定義しています。つまり、「ふ化器」にあたるインキュベーション施設で、起業家の皆様をサポートするシステムのことです。

### ◎市内のインキュベーション施設

「北九州テレワークセンター」(IT系ベンチャー企業向け)

「北九州テクノセンター」(サービス系ベンチャー企業向け)

「北九州市立起業家支援工場」(ものづくり系ベンチャー企業向け)

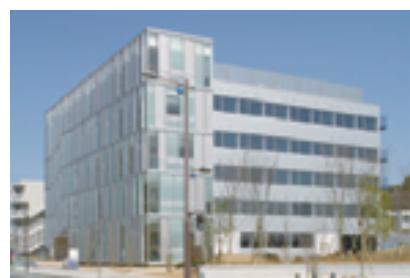
「北九州学術研究都市 産学連携施設」(大学発ベンチャー企業向け)



北九州テクノセンター



北九州市立起業家支援工場



北九州学術研究都市 産学連携施設(事業化支援センター)

### ◎ベンチャー企業への集中支援

インキュベーションマネージャーが専門家とも連携して、インキュベーション施設の入居企業に対し、

- ①経営ノウハウの提供、各種支援メニューの紹介
  - ②経営力・技術力向上に向けた各種相談・セミナー等の実施
  - ③ベンチャー企業が開発した商品・サービスの販路開拓支援
- などの支援を行い、売上等の増加に繋げてきました。



### ◎北九州ベンチャーアイノベーションクラブ(通称:KVIC)の運営

北九州市の新産業および雇用の創出に向けて、ベンチャー企業支援ネットワーク

『北九州ベンチャーアイノベーションクラブ』を運営し、ビジネスマッチングなどの事業を展開しました。

※「ベンチャー企業の成長支援」に係る上記事業は、平成29年度で終了しました。

# 財団運営

## 評議員名簿

(平成30年6月25日現在)

五十音順

氏名	役職名
梅本 和秀	北九州市副市長
利島 康司	北九州商工会議所会頭
西原 達次	九州歯科大学長
初田 寿	福岡県商工部新産業振興課長
原田 信弘	北九州工業高等専門学校長
東 敏昭	産業医科大学長
平井 寿敏	産業技術総合研究所九州センター所長
廣渡 健	九州電力(株)執行役員北九州支社長
松本 豊	(公社)九州機械工業振興会会长

## 役員名簿

(平成30年6月25日現在)

五十音順

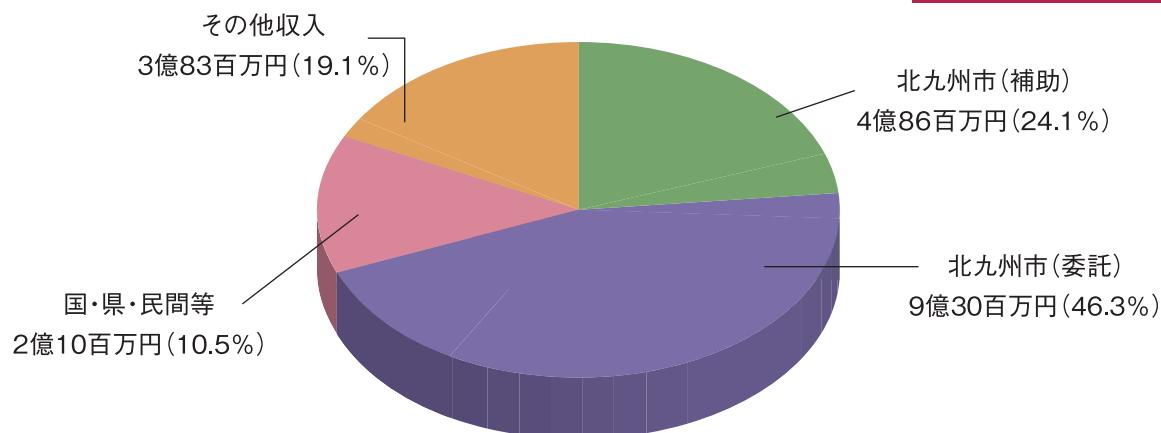
役員の種類	氏名	役職名
理事長	松永 守央	(公財) 北九州産業学術推進機構
副理事長	重松 崇	(公財) 北九州産業学術推進機構
専務理事	松岡 俊和	(公財) 北九州産業学術推進機構
理事	梶原 昭博	北九州市立大学副学長
//	自見 榮祐	(一社) 北九州中小企業団体連合会会长
//	富高 紳夫	北九州市産業経済局企業立地・食ブランド推進担当理事
//	橋本 周司	早稲田大学副総長
//	松岡 信行	北九州情報サービス産業振興協会会长
//	三谷 康範	九州工業大学副学長
監事	石井 佳子	北九州市会計室長
//	吉野 浩実	(株) 西日本シティ銀行常務執行役員北九州総本部長

# 平成29年度 決算資料

## 収入および支出内訳

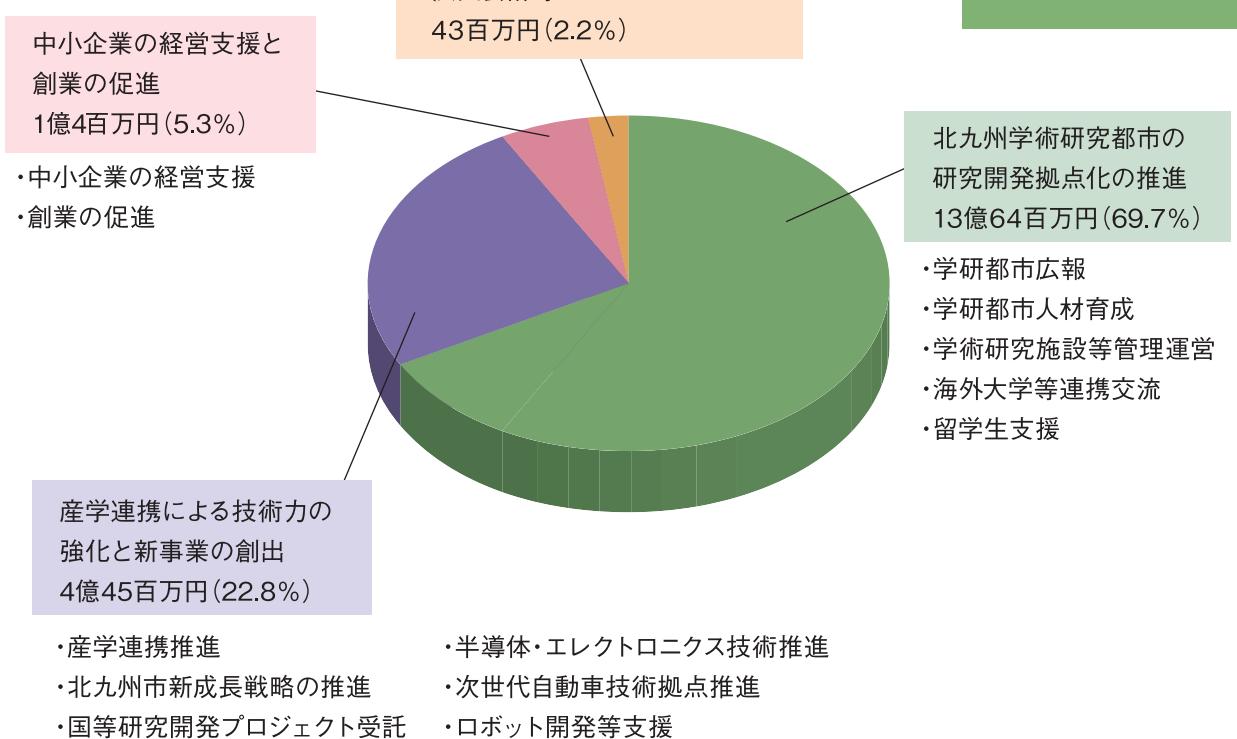
### <収入>

**収入総額  
20億9百万円**



### <支出>

**支出総額  
19億56百万円**



## 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	531,932,172	541,079,409	△ 9,147,237
未収金	224,404,525	236,986,387	△ 12,581,862
流動資産合計	756,336,697	778,065,796	△ 21,729,099
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	199,680,807	194,379,696	5,301,111
普通預金	319,193	4,620,304	△ 4,301,111
定期預金	0	1,000,000	△ 1,000,000
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
留学生支援事業積立資産	7,480,000	10,975,972	△ 3,495,972
学研都市充実強化積立資産	9,636,411	9,636,411	0
特定プロジェクト支援積立資産	26,835,760	28,039,788	△ 1,204,028
特定資産合計	43,952,171	48,652,171	△ 4,700,000
(3) その他固定資産			
車両運搬具	3,060,583	1	3,060,582
機械設備	519,730	12,159,513	△ 11,639,783
什器備品	77,339,719	99,042,946	△ 21,703,227
無形固定資産	38,662,035	55,050,244	△ 16,388,209
電話加入権	1,000	1,000	0
リサイクル預託金	10,480	0	10,480
その他固定資産合計	119,593,547	166,253,704	△ 46,660,157
固定資産合計	363,545,718	414,905,875	△ 51,360,157
資産合計	1,119,882,415	1,192,971,671	△ 73,089,256
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	331,386,012	409,909,526	△ 78,523,514
預り金	10,428,283	6,150,114	4,278,169
流動負債合計	341,814,295	416,059,640	△ 74,245,345
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	341,814,295	416,059,640	△ 74,245,345
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
北九州市補助金	51,645,609	59,383,812	△ 7,738,203
国庫補助金	30,175,404	40,972,337	△ 10,796,933
その他補助金	1	1,458,000	△ 1,457,999
寄付金	207,480,000	209,580,000	△ 2,100,000
指定正味財産合計	289,301,014	311,394,149	△ 22,093,135
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(7,480,000)	(9,580,000)	△ 2,100,000
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	488,767,106	465,517,882	23,249,224
正味財産合計	(36,472,171)	(39,072,171)	△ 2,600,000
負債及び正味財産合計	778,068,120	776,912,031	1,156,089
	1,119,882,415	1,192,971,671	△ 73,089,256

# 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,369,853	546,459	823,394
②事業収益			
北九州市受託事業収益	929,751,007	885,845,438	43,905,569
国受託事業収益	12,870,000	19,763,317	△ 6,893,317
その他受託事業収益	99,626,804	416,410,461	△ 316,783,657
T L Oライセンス事業収益	1,708,192	2,025,778	△ 317,586
その他事業収益	358,833,659	346,378,803	12,454,856
収益事業等会計収益	19,150,062	19,864,501	△ 714,439
③受取補助金等			
受取北九州市補助金	473,656,761	435,392,586	38,264,175
受取福岡県補助金	1,396,660	1,362,650	34,010
受取国庫補助金	83,863,483	60,795,529	23,067,954
受取その他補助金	0	9,017,568	△ 9,017,568
受取補助金等振替額	32,923,936	29,458,270	3,465,666
④受取寄付金			
受取寄付金	4,160,000	4,520,000	△ 360,000
受取寄付金振替額	2,100,000	420,000	1,680,000
⑤雑収益			
受取利息	0	60,071	△ 60,071
雑収益	324,700	93,780	230,920
経常収益計	2,021,735,117	2,231,955,211	△ 210,220,094
(2) 経常費用			
①事業費			
役員報酬	12,852,721	13,102,962	△ 250,241
給与	224,357,739	238,119,531	△ 13,761,792
福利厚生費	46,520,073	49,971,384	△ 3,451,311
会議費	935,290	1,332,028	△ 396,738
涉外費	269,952	411,674	△ 141,722
旅費交通費	18,762,453	36,875,510	△ 18,113,057
通信運搬費	13,830,053	12,716,686	1,113,367
減価償却費	50,943,514	59,211,430	△ 8,267,916
消耗品費	16,590,705	22,404,529	△ 5,813,824
修繕費	71,057,162	89,153,899	△ 18,096,737
印刷製本費	2,219,691	2,246,096	△ 26,405
新聞図書費	4,607,994	5,115,563	△ 507,569
燃料費	413,093	332,673	80,420
光熱水費	228,395,118	212,201,203	16,193,915
賃借料	171,537,588	164,599,170	6,938,418
保険料	2,225,560	1,439,620	785,940
諸謝金	53,802,018	41,796,305	12,005,713
租税公課	14,907,668	17,089,720	△ 2,182,052
委託費	768,393,269	949,618,088	△ 181,224,819
支払負担金	92,549,485	99,076,910	△ 6,527,425
支払助成金	142,427,867	140,107,381	2,320,486
ライセンス料	705,003	905,459	△ 200,456
支払手数料	7,047,446	5,560,704	1,486,742
奨学金	18,260,000	15,740,000	2,520,000
雑費	145,840	702,094	△ 556,254
貸倒損失	1	173,805	△ 173,804

科目	当年度	前年度	増減
②管理費			
役員報酬	4,611,647	4,367,655	243,992
給与	5,150,689	7,025,435	△ 1,874,746
福利厚生費	679,865	1,263,040	△ 583,175
会議費	44,619	32,010	12,609
涉外費	0	142,564	△ 142,564
旅費交通費	1,520,970	1,808,750	△ 287,780
通信運搬費	141,344	178,960	△ 37,616
減価償却費	199,210	215,302	△ 16,092
消耗品費	745,788	309,764	436,024
印刷製本費	111,024	53,568	57,456
新聞図書費	327,753	308,800	18,953
燃料費	204,902	267,327	△ 62,425
光熱水費	70,964	65,658	5,306
賃借料	2,009,103	2,424,766	△ 415,663
保険料	134,690	144,990	△ 10,300
諸謝金	1,334,334	877,800	456,534
租税公課	72,732	52,680	20,052
委託費	2,754,300	1,819,540	934,760
支払負担金	675,390	621,390	54,000
支払手数料	911,698	846,494	65,204
雑費	10,550	18,150	△ 7,600
経常費用計	1,985,468,875	2,202,849,067	△ 217,380,192
当期経常増減額	36,266,242	29,106,144	7,160,098
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①除却損失			
什器備品除却損	1,774	125,925	△ 124,151
無形固定資産除却損	12,080,144	32,825,761	△ 20,745,617
経常外費用計	12,081,918	32,951,686	△ 20,869,768
当期経常外増減額	△ 12,081,918	△ 32,951,686	20,869,768
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	24,184,324	△ 3,845,542	28,029,866
法人税・住民税及び事業税	1,075,100	985,000	90,100
法人税等還付金	140,000	0	140,000
当期一般正味財産増減額	23,249,224	△ 4,830,542	28,079,766
一般正味財産期首残高	465,517,882	470,348,424	△ 4,830,542
一般正味財産期末残高	488,767,106	465,517,882	23,249,224
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取北九州市補助金	11,814,837	32,825,449	△ 21,010,612
受取国庫補助金	1,115,964	31,578,206	△ 30,462,242
受取寄付金			
受取寄付金	0	10,000,000	△ 10,000,000
基本財産受取利息	1,369,853	546,459	823,394
一般正味財産への振替額	△ 36,393,789	△ 30,424,729	△ 5,969,060
当期指定正味財産増減額	△ 22,093,135	44,525,385	△ 66,618,520
指定正味財産期首残高	311,394,149	266,868,764	44,525,385
指定正味財産期末残高	289,301,014	311,394,149	△ 22,093,135
III 正味財産期末残高	778,068,120	776,912,031	1,156,089

# アクセスマップ

## 北九州学術研究都市

●キャンパス運営センター

●産学連携統括センター  
ものづくり革新センター  
情報産業振興センター  
自動車技術センター  
ロボット技術センター  
国家戦略特区ライン



【公共交通機関の場合】 ◎JR折尾駅西口バス停 → 市営バス → 学研都市ひびきの ※所要時間約15分

◎北九州空港バス停 → 西鉄バス → 学研都市ひびきの ※所要時間約80分

【車をご利用の場合】 ◎北九州都市高速道路 黒崎出入口 ※北九州都市高速道路黒崎出入口からの所要時間約20分

◎小倉都心 → 北九州都市高速道路 東田出入口 → 黒崎バイパス 皇后崎ランプ → 学研都市ひびきの

※所用時間小倉都心から約30分

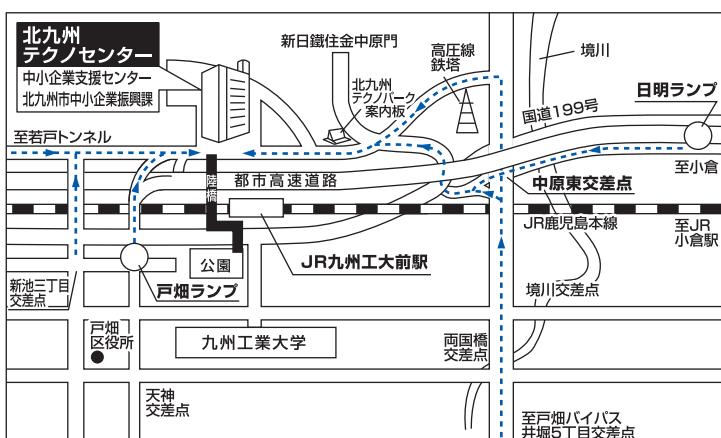
## 北九州テクノセンタービル

●中小企業支援センター

## 九州ヒューマンメディア創造センタービル

●情報産業振興センター

情報産業振興部e-PORT集積促進担当課



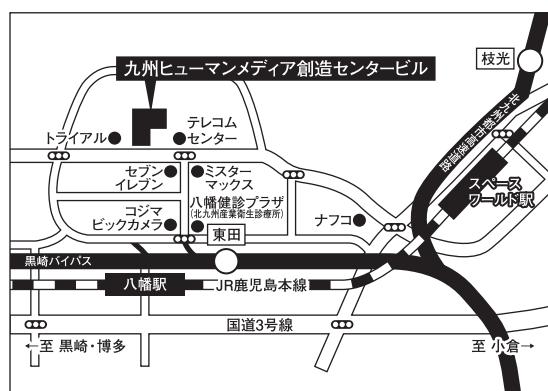
◎JR九州工大前駅下車北側へ徒歩3分

◎小倉方面から

国道199号中原東交差点よりテクノパークへ入る

◎戸畠方面から

北九州都市高速戸畠ランプへ向かってJR線をまたぐ高架を上り、料金所直前で左折してテクノパークへ入る（一方通行）



◎JR八幡駅から徒歩5分

◎北九州都市高速道路: 東田出入口ランプから車で3分



## ご連絡・お問い合わせは 公益財団法人 北九州産業学術推進機構(FAIS)の各センターへ

【北九州学術研究都市ホームページ】 <http://www.ksrp.or.jp/>

【公益財団法人 北九州産業学術推進機構(FAIS)ホームページ】 <http://www.ksrp.or.jp/fais/>

北九州学術研究都市に関する全般的なお問い合わせ	E-mail / <a href="mailto:info@ksrp.or.jp">info@ksrp.or.jp</a>
キャンパス運営センター	TEL 093-695-3111 FAX 093-695-3010
大学の研究内容の活用、产学連携に関するお問い合わせ	E-mail / <a href="mailto:iac@ksrp.or.jp">iac@ksrp.or.jp</a>
産学連携統括センター	TEL 093-695-3006 FAX 093-695-3018
「革新的ものづくり」活動の支援、半導体関連企業の支援、その他研究開発プロジェクト等に関するお問い合わせ	E-mail / <a href="mailto:iac@ksrp.or.jp">iac@ksrp.or.jp</a>
ものづくり革新センター	TEL 093-695-3007 FAX 093-695-3667
ICT分野における新ビジネス創出等に関するお問い合わせ	E-mail / <a href="mailto:iipc@ksrp.or.jp">iipc@ksrp.or.jp</a>
情報産業振興センター	TEL 093-695-3077 FAX 093-695-3667
情報産業振興部企画課	TEL 093-695-3667
情報産業振興部e-PORT集積促進担当課	TEL 093-663-2950 FAX 093-663-2955
自動車分野における研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ	E-mail / <a href="mailto:car@ksrp.or.jp">car@ksrp.or.jp</a>
自動車技術センター	TEL 093-695-3685 FAX 093-695-3686
ロボット分野の研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ	E-mail / <a href="mailto:robotics@ksrp.or.jp">robotics@ksrp.or.jp</a>
ロボット技術センター	TEL 093-695-3085 FAX 093-695-3525
国家戦略特区ライン（介護ロボット開発支援）の研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ	E-mail / <a href="mailto:robocare@ksrp.or.jp">robocare@ksrp.or.jp</a>
国家戦略特区ライン	TEL 093-695-3046 FAX 093-695-3525
中小企業の経営、創業に関するお問い合わせ	E-mail / <a href="mailto:k_info@ksrp.or.jp">k_info@ksrp.or.jp</a>
中小企業支援センター	TEL 093-873-1430 FAX 093-873-1450